財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団

〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山1-4-10 名古屋市音楽プラザ4F
TEL 052-322-2774　FAX 052-322-3066
名フィル・チケットガイド
TEL 052-339-5666
WEB http://www.nagoya-phil.or.jp/
名フィル　検索

常任指揮者：ティエリー・フィッシャー
名フィル
Nagoya Philharmonic Orchestra since 1966
THIERRY FISCHER
Nagoya Philharmonic Orchestra
CHIEF CONDUCTOR

名古屋フィルハーモニー交響楽団

2010.4-2011.3

シーズン・プログラム

Nagoya Philharmonic Orchestra

2010.4-2011.3 Season Program

財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団

Nagoya Philharmonic Orchestra

名古屋フィルハーモニー交響楽団

1966年7月10日に結成。翌年10月、第1回定期演奏会を開催。1973年4月、名古屋市の出捐により財団法人となる。2008年4月より、スイス人のティエリー・フィッシャーが第7代常任指揮者に就任。定期演奏会の斬新なプログラミングが、全国的な話題を呼んでいる。

歴代の指揮者は、岩城宏之、福村芳一、森正、荒谷俊治、外山雄三、モーシェ・アツモン、飯守泰次郎、小林研一郎、沼尻竜典。また1995年には、ポップスオーケストラ・ミュージックディレクターにボブ佐久間が就任し、<名フィル・ポップスオーケストラ>としてユニークな活動を展開している。

2002年にウィーン・フィルのコンサートマスターであるライナー・ホーネックが首席客演コンサートマスターに就任。2004年にウィーン国立歌劇場の総監督であるイオアン・ホーレンダーが芸術アドバイザーに就任。ウィーンとの結び付きを強め、より一層の芸術レベル向上を目指す。

これまでに、朝比奈隆、クルト・ヴェス、小澤征爾、ヤコフ・クライツベルク、ヘルベルト・ケーゲル、ワレリー・ゲルギエフ、ズデニェク・コシュラー、ピンカス・ズッカーマン、ルドルフ・バルシャイ、ウラディーミル・フェドセーエフ、ラファエル・フリューベック・デ・ブルゴス、ジャン・フルネ、パーヴォ・ヤルヴィ、ハインツ・ワルベルクといった世界的な指揮者が客演。シュテファン・ヴラダー、ゲルハルト・オピッツ、エフゲニー・キーシン、スティーヴン・コヴァセヴィチ、ジャン=フィリップ・コラール、ジャン=イヴ・ティボーデ、ルドルフ・フィルクスニー、イェフィム・ブロンフマン、アンドレ・ワッツ（ピアノ）、サルヴァトーレ・アッカルド、マキシム・ヴェンゲーロフ、ギドン・クレーメル、アイザック・スターン、オーギュスタン・デュメイ、ジョルジュ・パウク、アンネ=ゾフィー・ムター（ヴァイオリン）、今井信子、キム・カシュカシアン（ヴィオラ）、スティーヴン・イッサーリス、ヤーノシュ・シュタルケル、アンナー・ビルスマ、ボリス・ペルガメンシコフ、ミッシャ・マイスキー、ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ、ジャン・ワン（チェロ）、サー・ジェームズ・ゴールウェイ、エマニュエル・パユ（フルート）、モーリス・ブルグ（オーボエ）、モーリス・アンドレ（トランペット）、白井光子、ゲーナ・ディミトローヴァ（ソプラノ）、ベルント・ヴァイクル（バリトン）といった世界的なソリストと共演を重ねる。

1988年に初の海外公演としてヨーロッパ2カ国ツアー（フランス、スイス　広上淳一指揮）を、2000年にアジア8カ国ツアー（ブルネイ、シンガポール、フィリピン、韓国、マレーシア、ベトナム、タイ、台湾　本名徹次指揮）、2004年に「プラハの春」国際音楽祭からの正式招待を受けたヨーロッパ3カ国ツアー（ドイツ、オーストリア、チェコ　沼尻竜典、武藤英明、トマーシュ・ハヌス指揮）、2006年にアジア7カ国ツアー（シンガポール、フィリピン、台湾、韓国、タイ、香港、マレーシア 下野竜也指揮）を実施、大成功を収める。

これまでに、東海テレビ文化賞（1990年）、愛知県芸術文化選奨文化賞（1991年）、文化庁芸術作品賞・レコード部門（1997年）を受賞。

現在は、愛知県芸術劇場コンサートホール、中京大学文化市民会館オーロラホールを主会場に、年間約120回の演奏会を行なっている。

歴代指揮者	称　号	任　期
岩城宏之	音楽総監督	1971.04 - 1974.03
福村芳一	常任指揮者	1971.04 - 1974.03
森正	音楽総監督	1974.04 - 1980.06
荒谷俊治	常任指揮者	1974.04 - 1980.06
外山雄三	音楽総監督 兼 常任指揮者	1981.01 - 1987.03
モーシェ・アツモン	常任指揮者	1987.04 - 1993.03
	名誉指揮者	1993.04 -
飯守泰次郎	常任指揮者	1993.04 - 1998.03
小林研一郎	音楽総監督	1998.04 - 2001.03
	音楽監督	2001.04 - 2003.03
	桂冠指揮者	2003.04 -
沼尻竜典	常任指揮者	2003.04 - 2006.03
ティエリー・フィッシャー	常任指揮者	2008.04 -

Nagoya Philharmonic Orchestra

Musicians from the City of Nagoya and the surrounding area founded the Nagoya Philharmonic Orchestra (NPO) in July 1966. Their first subscription concert was held in October 1967.

In 1971, NPO appointed Hiroyuki IWAKI as the General Music Director and Yoshikazu FUKUMURA as the Permanent Conductor to help establish itself as a successful orchestra. In April 1973, NPO received an endowment from the City of Nagoya.

Tadashi MORI was appointed as the General Music Director in 1974, with Shunji ARATANI as the Permanent Conductor.

Yuzo TOYAMA became the General Music Director and the Permanent Conductor of NPO in January 1981. NPO enhanced its standards and range by expanding both its repertoire and members. In 1986, NPO celebrated its 20th anniversary with a number of special events and concerts.

Moshe ATZMON was appointed as the Permanent Conductor in April 1987. NPO made its first international tour with Jun' ichi HIROKAMI in September 1988 to France and Switzerland, was receiving high acclaim. NPO was awarded the 23rd Tokai TV Cultural Prize in November 1990, and the Aichi Prefecture Arts and Culture Prize the following March. With the appointment of Taijiro IIMORI as the Permanent Conductor in April 1993, Moshe ATZMON became an Honorary Conductor of NPO.

In 1995, NPO embarked on a new enterprise, the Nagoya Philharmony Pops Orchestra was launched with Bob SAKUMA as the Pops Orchestra Music Director. The live CD recording of the 30th Anniversary Concert, held at Suntory Hall (Tokyo), won the 1996 Agency for Cultural Affairs Work of Art Award in the Recording Division in March 1997.

In April 1998, Ken' ichiro KOBAYASHI was appointed as the General Music Director. In 2000, NPO made its second international tour to Asian countries with Tetsuji HONNA, was a great success in Brunei, Singapore, The Philippines, South Korea, Malaysia, Vietnam, Thailand and Taiwan.

In April 2003, Ryusuke NUMAJIRI was appointed as the Chief Conductor and Ken' ichiro KOBAYASHI was appointed as the Conductor Laureate. NPO was invited to "The Prague Spring International Music Festival" and had successful second Europe tour in May 2004 to Germany, Austria and Czech with Ryusuke NUMAJIRI, Hideaki MUTO and Tomáš HANUS. In 2006, NPO made its second Asia tour to Singapore, The Philippines, Taiwan, South Korea, Thailand, Hong Kong, Malaysia with Tatsuya SHIMONO.

In April 2008, Swiss Conductor Thierry FISCHER who is Principal Conductor of BBC National Orchestra of Wales and Music Director of Utah Symphony Orchestra, was appointed as the Chief Conductor.

Meanwhile, NPO performed with some of the leading conductors and soloists as well as Takashi ASAHINA, Rudolf BARSHAI, Vladimir FEDOSEEV, Jean FOURNET, Rafael Frühbeck de BURGOS, Valery GERGIEV, Paavo JÄRVI, Herbert KEGEL, Zdeněk KOŠLER, Yakov KREIZBERG, Seiji OZAWA, Heinz WALLBERG, Kurt WÖSS, Pinchas ZUKERMAN (Conductor), Yefim BRONFMAN, Jean-Phillippe COLLARD, Rudolf FIRKUŠNÝ, Yevgeny KISSIN, Stephen KOVACEVICH, Gerhard OPPITZ, Jean-Yves THIBAUDET, Stefan VLADAR, Andre WATTS (Piano), Salvatore ACCARDO, Augustin DUMAY, Gidon KREMER, Anne-Sophie MUTTER, György PAUK, Isaac STERN, Maxim VENGEROV (Violin), Nobuko IMAI, Kim KASHKASHIAN (Viola), Anna BYLSMA, Steven ISSERLIS, Mischa MAISKY, Boris PERGAMENSCHIKOV, Mstislav ROSTROPOVICH, Janos STARKER, Jian WANG (Cello), Sir James GALWAY, Emmanuel PAHUD (Flute), Maurice BOURGUE (Oboe), Maurice ANDRÉ (Trumpet), Ghena DIMITROVA, Mitsuko SHIRAI (Soprano), Bernd WEIKL (Baritone) and its reputation continued to grow.

Today, NPO performs approximate 120 concerts a year which are mainly held at the Aichi Prefectural Art Theater Concert Hall and the Chukyo University Center for Culture & Arts Aurora Hall.

Conductor	Title	Period
Hiroyuki IWAKI	General Music Director	1971.04 - 1974.03
Yoshikazu FUKUMURA	Permanent Conductor	1971.04 - 1974.03
Tadashi MORI	General Music Director	1974.04 - 1980.06
Shunji ARATANI	Permanent Conductor	1974.04 - 1980.06
Yuzo TOYAMA	General Music Director and Permanent Conductor	1981.01 - 1987.03
Moshe ATZMON	Permanent Conductor	1987.04 - 1993.03
	Honorary Conductor	1993.04 -
Taijiro IIMORI	Permanent Conductor	1993.04 - 1998.03
Ken'ichiro KOBAYASHI	General Music Director	1998.04 - 2001.03
	Music Director	2001.04 - 2003.03
	Conductor Laureate	2003.04 -
Ryusuke NUMAJIRI	Chief Conductor	2003.04 - 2006.03
Thierry FISCHER	Chief Conductor	2008.04 -

THIERRY FISCHER
Nagoya Philharmonic Orchestra
CHIEF CONDUCTOR

PROFILE

常任指揮者

ティエリー・フィッシャー

Chief Conductor : Thierry FISCHER

1957年生まれのスイス人指揮者。2008年4月から名フィルの常任指揮者に就任しており、さらにBBCウェールズ・ナショナル管弦楽団の首席指揮者を務め、2009年9月からは新たにユタ交響楽団の音楽監督に就任し、すでに演奏会計画の責任を負っている。2011-12シーズンに向けて指揮回数は徐々に増えていく予定で、最低でも1シーズンにつき12週間は指揮を行なうことになる。

フルートをオーレル・ニコレに師事し、音楽家としてのキャリアを、ハンブルク州立歌劇場およびチューリヒ歌劇場の首席フルート奏者としてスタートさせた。チューリヒでは、ニコラウス・アーノンクールにスコアを学び、強い影響を受ける。30代で、体調不良の指揮者の代役として指揮のキャリアを始め、最初のいくつかのコンサートでは、自身がクラウディオ・アバドの下で首席フルート奏者を務めていたヨーロッパ室内管弦楽団を指揮。アバドは指揮という自身にとっての新たな才能を励ましてくれた。オランダで経験を積んだ後、英国とヨーロッパの一流オーケストラに出演している。

2008年4月より名フィルの常任指揮者を務めており、斬新なプログラミングと演奏の質の向上を、自身の確固たる信念のもと実現させている。両者は2010年5月に東京・サントリーホールで東京デビュー公演を行なう。

2006年9月からBBCウェールズ・ナショナル管弦楽団の首席指揮者を務めており、就任披露公演ではフローラン・シュミット「詩篇47番」を指揮。同曲は英ハイペリオン・レーベルのフランス音楽シリーズ第1弾としてレコーディング。また、メシアン「トゥーランガリラ交響曲」は、BBCミュージック・マガジンの付録CDとしてライヴ・レコーディングされている。両者はアメリカ、スペイン、プラハにツアーを行ない、2009年8月にはシグナム・クラシックスより〈ストラヴィンスキー:バレエ『火の鳥』〉のCDをリリース。さらにBBCプロムス(ロンドン)への毎年の出演に加え、メシアンとデュティユー作品の音楽祭などの共同作業を行なっている。

2001-06年のアルスター管弦楽団(北アイルランド、ベルファスト)の首席指揮者兼芸術アドバイザーの任期中は、プラハ、ニューヨークにツアーを行ない、BBCプロムスに出演。シューベルト、メンデルスゾーン、ベートーヴェン、ブラームス、シューマン、オネゲルのツィクルスを指揮している。ジャン・フランセ作品集のレコーディングより、ハイペリオンとの関係が深まり、彼の幅広いディスコグラフィーには、ASV、シャンドスなど英国のレーベルに加え、グラモフォン賞にノミネートされたヨーロッパ室内管弦楽団とのドイツ・グラモフォンへのフランク・マルタン作品集のディスクも含まれる。タッチの軽さとテクスチュアの明瞭さが優れた特徴であり、それが彼の独特な解釈をもたらしている。鋭い様式感覚を持ち、バッハ、古典派、初期ロマン派から新ウィーン楽派、フランス印象主義にわたる広範なレパートリーに新鮮なアプローチをもたらしている。同国人であるフランク・マルタンとオネゲルの熱心な擁護者であり、プロコフィエフ、ストラヴィンスキー、ショスタコーヴィチの音楽に、特別な感情を抱いている。メシアンにも親しみ、2008年のBBCによるメシアン生誕100年を記念した企画では、中心的な役割を担った。サイモン・ホルト(BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団コンポーザー・イン・レジデンス)に代表される近現代の作曲家の作品を定期的にプログラムに取り入れており、ロンドン・シンフォニエッタには定期的に客演している。

2008-09シーズンには、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、オランダ放送フィルにデビュー。特に後者とは、フランク・マルタンの演奏機会の少ない歌劇『嵐』を、アムステルダム・コンセルトヘボウの高名なマチネー・シリーズで指揮している。そのライヴ・レコーディングは2010年にハイペリオンよりリリース予定。アメリカでもニュージャージー交響楽団などいくつかのオーケストラにデビューしており、2009年10月にはインディアナポリス交響楽団にデビューした。

ヨーロッパでの人気はすでに確立されており、これまでにフィルハーモニア管弦楽団、リヨン国立管弦楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、フランス放送フィル、ロイヤル・ストックホルム・フィル、ハノーファー北ドイツ放送フィル、ルガーノ放送交響楽団、ザールブリュッケン放送交響楽団などに客演。2009年12月には、ハインツ・ホリガーとともにバーデンバーデン&フライブルクSWR(南西ドイツ)放送交響楽団にてマーラー、ブリテン、オネゲルなどのレパートリーを指揮している。

シンフォニー・オーケストラと並行して、スコットランド室内管弦楽団、ノーザン・シンフォニア、オランダ放送室内管弦楽団、パリ室内管など、名門室内オーケストラとも密接な関係を築いている。

年間120回近くのコンサートを行なっている名フィル。その活動の中心が「定期演奏会」です。毎回世界で活躍する著名な指揮者、実力と魅力が溢れるソリストたちを迎えてお贈りしています。
ティエリー・フィッシャーの常任指揮者就任以降、2008年<ツァラトゥストラ・シリーズ>、2009年<「四季」シリーズ>と2シーズン連続の衝撃的・意欲的なプログラムを経て、続く3シーズン目の集大成に選んだアイディアは<「都市と音楽」シリーズ>です。
年間11回22公演、愛知県芸術劇場コンサートホールを舞台に、各公演のタイトルとなっている都市にまつわるおなじみの名曲や、ちょっとサプライズな小品を演奏します。さあ、世界の都市へ音楽旅行に出かけましょう!

ようこそ、私たちの2010.4-2011.3シーズンへ!

THIERRY FISCHER
Nagoya Philharmonic Orchestra
CHIEF CONDUCTOR

今シーズンは、皆さまに地球上の素晴らしい都市の数々を巡る「世界旅行」をご提案いたします!
世界中の数多くの都市は歴史的に、様々なかたちでクラシック音楽の影響を受けているものです。
このようなワンダフルな街をいくつかピックアップし、そこから受けたインスピレーションを皆さまにご提供することが、私たちの今シーズン、メインとなるアイディアです!
さらに強力な名曲たちが、私たちのプログラムをより魅力的に輝かせています。
例えば…、

- ■ショスタコーヴィチの「第5交響曲」(5/14,15「第369回」)
- ■ラヴェルの「ピアノ協奏曲」(5/14,15「第369回」)
- ■サン=サーンスの「オルガン・シンフォニー」(7/9,10「第371回」)
- ■マーラーの「第5交響曲」(9/3,4「第372回」)
- ■メンデルスゾーンの「ヴァイオリン協奏曲」(10/22,23「第373回」)
- ■ラフマニノフの「第2交響曲」(12/17,18「第375回」)
- ■ドヴォルザークの「新世界交響曲」(2011.1/21,22「第376回」)

などなど…。
それでは初回、まずはヨーロッパから旅に出ましょう!

第368回

プラハ

The 368th Prague

4/16 金 6:45pm・17 土 4:00pm

Apr. 16 (Fri.) 6:45pm / Apr. 17 (Sat.) 4:00pm

■スメタナ:連作交響詩『わが祖国』全曲
B. Smetana : My Country (Complete)

スメタナの巨大な連作交響詩『わが祖国』でプラハに到着です。この楽曲はチェコの自然、歴史的な出来事、英雄や場所を表現しています。

[指揮] 小林研一郎 Conductor : Ken'ichiro KOBAYASHI

フィッシャー・メモ マエストロ小林はものすごい人気の指揮者だよね。素晴らしい経歴を持っている方だよ。

※「フィッシャー・メモ」はマスコミ各社の取材にフィッシャーが答えた、彼自身の言葉を演奏会ごとにまとめたものです。

1回券料金	S席¥6,000 A席¥5,000 B席¥4,000 C席¥3,000 D席¥2,000 Y席¥1,000(24歳以下対象・当日窓口販売のみ)
1回券発売日	3月3日(水)

「都市と音楽」シリーズ、初回はチェコの古都・プラハです。"ヨーロッパの魔法の都"とも称される美しく歴史的な街プラハ、ここで初演されたスメタナの名作が交響詩『わが祖国』です。定期演奏会には2006年5月以来4シーズンぶり、この4月には古希を迎える桂冠指揮者・小林研一郎は堂々の24回目の登場です。自身最も愛する曲のひとつで、自らの指揮によって生誕70年を祝います。"炎のコバケン"のタクトで、雄大なモルダウ川の流れを感じてください。

第369回 バーゼル
The 369th **Basel**

ハイドンとモーツァルトの精神が息づくバーゼルは、私の母国・スイスの都市です。素晴らしく色鮮やかなオネゲルの「第4交響曲」は、有名なバーゼルのカーニバルのテーマが使われているんですよ!

5/14 金 6:45pm・15 土 4:00pm
May 14 (Fri.) 6:45pm / May 15 (Sat.) 4:00pm

■オネゲル：交響曲第4番『バーゼルの喜び』
A. Honegger : Symphony No.4 "Deliciae Basiliensis"

■ラヴェル：ピアノ協奏曲ト長調*
M. Ravel : Piano Concerto in G major*

■ショスタコーヴィチ：交響曲第5番ニ短調 作品47
D. Shostakovich : Symphony No.5 in D minor, Op.47

[ピアノ]北村朋幹* Piano : Tomoki KITAMURA*

[指揮]ティエリー・フィッシャー Conductor : Thierry FISCHER

フィッシャー・メモ ショスタコーヴィチの5番については、パリのショスタコーヴィチ・アーカイヴで資料研究もした。最終楽章のテンポには驚くかもしれないね!

1回券料金	S席¥7,000　A席¥6,000　B席¥5,000　C席¥4,000　D席¥3,000　Y席¥1,000（24歳以下対象・当日窓口販売のみ）
1回券発売日	3月3日（水）

ティエリー・フィッシャーのふるさと・スイスからは、チューリヒ、ジュネーヴに次ぐ第3の都市バーゼルへ。スイス人の両親を持つオネゲルがバーゼルの民謡を巧みに用いた『バーゼルの喜び』で明るい幕開け。名フィル常任指揮者就任のきっかけになった2006年の「第12番」に続く、ショスタコーヴィチ「第5番」での情熱的な指揮は必見。昨シーズンにフィッシャーの指揮の下フレッシュな演奏を聴かせた北村朋幹は、ラヴェル作品で早くも定期に2度目の登場です。

特別演奏会 東京公演2010
Special Concert **Tokyo Concert 2010**

5/17 月 7:00pm 会場＝サントリーホール

東京公演2005

内容は上記定期演奏会と同一

チケット料金	S席¥6,000　A席¥5,000　B席¥4,000　C席¥3,000　D席¥2,000　Y席¥1,000（24歳以下対象・当日窓口販売のみ）
チケット発売日	3月3日（水）

中部の雄、我らが名フィル5シーズンぶりの単独東京公演が2010年、実現します! もはや東海地方ではおなじみとなった常任指揮者ティエリー・フィッシャーはこの公演が東京デビュー。話題のフィッシャー×名フィルのコンビがショスタコーヴィチ、オネゲルなど渾身のプログラムを携えて、さらに愛知が誇る若きピアニスト北村朋幹とともにサントリーホールの舞台に立ちます。

第370回 マドリード
The 370th **Madrid**

マドリードでは「都市の夜」をイメージしてみました。特にボッケリーニの『マドリードの夜の帰営ラッパ』は、雰囲気満点の作品です!

6/18 金 6:45pm・19 土 4:00pm
Jun. 18 (Fri.) 6:45pm / Jun. 19 (Sat.) 4:00pm

■マーラー：花の章
G. Mahler : Blumine

■ボッケリーニ／ベリオ：『マドリードの夜の帰営ラッパ』の4つのオリジナル版
L. Boccherini / L. Berio : Four Original Versions of "Ritirata Notturna di Madrid"

■ロドリーゴ：アランフェス協奏曲*
J. Rodrigo : Concierto de Aranjuez*

■ファリャ：バレエ『三角帽子』全曲**
M. Falla : The Three Cornered Hat (Complete Ballet)**

[メゾ・ソプラノ]藤井美雪**
Mezzo-soprano : Miyuki FUJII**

[ギター]福田進一*
Guitar : Shin'ichi FUKUDA*

[指揮]川瀬賢太郎
Conductor : Kentaro KAWASE

Photo : Shigeto Imura

フィッシャー・メモ スペインらしい楽曲が本当に揃っていて、これぞ「都市と音楽」シリーズに相応しいと思う。若い指揮者で、エネルギッシュな演奏が聴けそうだね。

1回券料金	S席¥6,000　A席¥5,000　B席¥4,000　C席¥3,000　D席¥2,000　Y席¥1,000（24歳以下対象・当日窓口販売のみ）
1回券発売日	4月7日（水）

『巨人』第2楽章として作曲、後に削除された「花の章」で始まるスペイン・マドリード編。同国アンダルシアを舞台とした民族色豊かなバレエ『三角帽子』はメゾ・ソプラノの藤井美雪を加えて華やかに。後半生をスペインで過ごしたボッケリーニの作品に「これは当時のビートルズだ」と語るベリオが付加価値を与えた「マドリードの夜」。世界的ギタリスト・福田進一を迎えての「アランフェス」。飛ぶ鳥を落とす勢いの25歳、川瀬賢太郎は若さあふれる定期初登場です!

第371回 パリ
The 371st **Paris**

世界を変えたいと願った、数々のアーティストたち…。パリは特にそういった芸術家たちを多く生みました。プーランクとサン=サーンスによる、典型的な可愛らしいフランス音楽とともに、ガーシュウィンの有名な『パリのアメリカ人』をお楽しみください。

7/9 金 6:45pm・10 土 4:00pm
Jul. 9 (Fri.) 6:45pm / Jul. 10 (Sat.) 4:00pm

■ガーシュウィン：パリのアメリカ人
G. Gershwin : An American in Paris

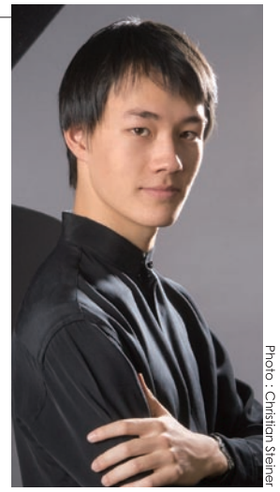
■プーランク：2台のピアノのための協奏曲ニ短調*
F. Poulenc : Concerto for 2 Pianos in D minor*

■サン=サーンス：交響曲第3番ハ短調 作品78『オルガン付』**
C. Saint-Saëns : Symphony No.3 in C minor, Op.78 "Organ Symphony"**

[オルガン]小林英之**
Organ : Hideyuki KOBAYASHI**

[指揮]円光寺雅彦
Conductor : Masahiko ENKOJI

[ピアノ]マテオ・クルー*
Piano : Mateo CREUX*



[ピアノ]ルイ・シュヴィッツゲーベル=ワン*
Piano : Louis SCHWIZGEBEL-WANG*

Photo : Christian Steiner

フィッシャー・メモ プーランクのソリスト2人には本当に期待している。2人ともスイスの出身だしね。才能が花開く瞬間に立ち会えることはとても幸せなことだよ。

1回券料金	S席¥6,000　A席¥5,000　B席¥4,000　C席¥3,000　D席¥2,000　Y席¥1,000（24歳以下対象・当日窓口販売のみ）
1回券発売日	4月7日（水）

舞台はフランス、花の都パリへ。ガーシュウィンの名刺曲「パリのアメリカ人」で現代のパリの喧騒を描くと、パリに生まれたプーランクの「2台ピアノの協奏曲」へ。パリでオルガニストとして活躍したサン=サーンス『オルガン付』では、パイプオルガンの荘厳な音色もお楽しみに。定期3度目の円光寺の指揮のもと、ジュネーヴ2位のシュヴィッツゲーベル=ワン（1987年生）と、スイスの新星クルー（1984年生）の2人はフィッシャーの強い推薦で初来日です。

第372回 名古屋 ／マーラー生誕150年記念プログラム

The 372nd **Nagoya / The 150th Anniversary Program of Mahler's Birth**

9/3 金 6:45pm・4 土 4:00pm

Sep. 3 (Fri.) 6:45pm / Sep. 4 (Sat.) 4:00pm

■斉木由美：委嘱新作*（ヴァイオリンのための協奏的作品）〈世界初演〉
Y. Saiki : New Commissioned Work* [Concerto for Violin] <World Premiere>

■マーラー：交響曲第5番嬰ハ短調
G. Mahler : Symphony No.5 in C sharp minor

決して忘れてはいけない都市は…、名古屋ですね! この都市で、名フィルの3シーズン目を迎えられたことを、とても誇りに思っています。
名古屋で私は、地方の伝統を発見してみたり、いくつかの日本の強力な哲学的シンボルを見つけたりと、来日の際は素敵に日々を楽しく過ごしています。そして特に! この場所で私は、名フィルのみんなはもちろん、それ以外に関わりのあったたくさんの素晴らしい人々に出会えたことに感謝しています!
私はこのシーズン、名古屋をスペシャルな場所にするために、この地域に縁のある作曲家の方の委嘱作品を取り上げることが最善の方法だと考えました。きっとその作品は、国際都市名古屋がどれだけクリエイティブな都市か、どれだけ多角的な面があるかを表現してくれるでしょう。

［指揮］ティエリー・フィッシャー Conductor : Thierry FISCHER

［ヴァイオリン］植村太郎* Violin : Taro UEMURA*

フィッシャー・メモ 中部に縁のある作曲家の委嘱作品を、同じく中部に縁のあるヴァイオリニストによって演奏できるなんて楽しみだね。早くスケッチが見たいよ!

1回券料金	S席¥7,000　A席¥6,000　B席¥5,000　C席¥4,000　D席¥3,000　Y席¥1,000（24歳以下対象・当日窓口販売のみ）
1回券発売日	6月9日（水）

この旅に日本を代表する都市、名古屋は欠かせません! 三重県出身、愛知県芸大卒の売れっ子作曲家・斉木由美による委嘱作品は、同じく三重県出身の客演コンサートマスター＝植村太郎が奏でます。藤倉大『アンペール』（2009）に続く、名フィルの協奏委嘱作品の世界初演に乞うご期待。常任指揮者フィッシャーは2009年2月の『巨人』に続いて、トランペットの暗示的なファンファーレで始まるマーラーの交響曲第5番を、この生誕150年の記念すべき年に指揮。

第373回 ロンドン

The 373rd **London**

ロンドンには、ヴォーン・ウィリアムズの記念碑的作品「ロンドン交響曲」で到着。"ビッグ・ベン"をはじめとするこの魅力的な首都の様々な場所が、この曲を聴くことで皆さまにも見えてくるはずです。

10/22 金 6:45pm・23 土 4:00pm

Oct. 22 (Fri.) 6:45pm / Oct. 23 (Sat.) 4:00pm

■チマローザ：歌劇『ロンドンのイタリア女』序曲
D. Cimarosa : "L'italiana in Londra" Overture

■メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲ホ短調 作品64*
F. Mendelssohn : Violin Concerto in E minor, Op.64*

■ヴォーン・ウィリアムズ：ロンドン交響曲（交響曲第2番）
R. Vaughan Williams : A London Symphony [Symphony No.2]

Photo : Tom Bangbala

［ヴァイオリン］ジェニファー・パイク* Violin : Jennifer PIKE*

［指揮］マーティン・ブラビンス Conductor : Martyn BRABBINS

フィッシャー・メモ マーティンがまた来てくれるなんて嬉しいね。彼の音楽的コンセプトには共感している。パイクはブラビンスの強い推薦で来てくれることになったんだよ。

1回券料金	S席¥6,000　A席¥5,000　B席¥4,000　C席¥3,000　D席¥2,000　Y席¥1,000（24歳以下対象・当日窓口販売のみ）
1回券発売日	7月28日（水）

再びヨーロッパ、英国・ロンドンへ。チマローザの軽快な『ロンドンのイタリア女』に続いて、古今東西最も有名な楽曲のひとつ、メンデルスゾーンの協奏曲を、英国で活躍するジェニファー・パイク（1989年生）の日本デビューでご堪能あれ。ロンドンで青年期を過ごした"ロンドンっ子"ヴォーン・ウィリアムズの交響曲は名フィル初演です。2008年10月定期での指揮が聴衆・楽員の双方に好評だったマーティン・ブラビンスは2シーズンぶり、2度目の登場です!

第374回 サンクトペテルブルク

The 374th **St.Petersburg**

ロシアからは、サンクトペテルブルク。シーズンのテーマである都市名を冠した交響曲『レニングラード』は決して見逃せない、力に溢れたショスタコーヴィチの作品です。

11/12 金 6:45pm・13 土 4:00pm

Nov. 12 (Fri.) 6:45pm / Nov. 13 (Sat.) 4:00pm

■ベートーヴェン：序曲『コリオラン』作品62
L. v. Beethoven : Overture "Coriolan", Op.62

■ショスタコーヴィチ：交響曲第7番ハ長調 作品60『レニングラード』
D. Shostakovich : Symphony No.7 in C major, Op.60 "Leningrad"

［指揮］井上道義
Conductor : Michiyoshi INOUE

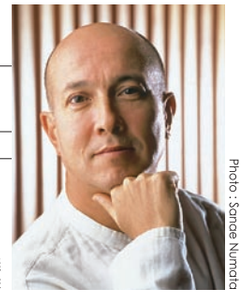


Photo : Sonoe Numata

フィッシャー・メモ ショスタコーヴィチの交響曲は名フィルにとても合っていると思っているんだ。非常に長い「交響曲第7番」を名フィルがどのように演奏するのかとても興味がある。

1回券料金	S席¥6,000　A席¥5,000　B席¥4,000　C席¥3,000　D席¥2,000　Y席¥1,000（24歳以下対象・当日窓口販売のみ）
1回券発売日	7月28日（水）

ロシア・サンクトペテルブルク（旧レニングラード）はショスタコーヴィチの生地です。彼の最も長大な交響曲『レニングラード』について「第7番は"狂気"を表現している」と語る、日本を代表するショスタコーヴィチ指揮者・井上道義は、名フィル定期に6シーズンぶり、7回目の久々の登場。2007年に日比谷公会堂で開催された「日露友好ショスタコーヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクト」では交響曲第11,12番で名フィルを指揮し、大きな話題を呼びました。

定期演奏会〈「都市と音楽」シリーズ〉 会場＝愛知県芸術劇場コンサートホール（座席表＝P32）
Subscription Concerts <"City & Music" Series> Aichi Prefectural Art Theater Concert Hall

第375回 ローマ
The 375th **Rome**

ローマを音楽で表現するならば、レスピーギの『ローマの噴水』は欠かすことのできない名作でしょう。街のなかにある4つの大きな噴水が、1日の異なる時間帯に分かれて描き出されています。

12/17 金 6:45pm・18 土 4:00pm

Dec. 17 (Fri.) 6:45pm / Dec. 18 (Sat.) 4:00pm

Photo : Masahide Sato

■吉松隆：朱鷺によせる哀歌 作品12
T. Yoshimatsu : Threnody to Toki, Op.12

■レスピーギ：交響詩『ローマの噴水』
O. Respighi : The Fountains of Rome

■ラフマニノフ：交響曲第2番ホ短調 作品27
S. Rachmaninov : Symphony No.2 in E minor, Op.27

［指揮］尾高忠明
Conductor : Tadaaki OTAKA

フィッシャー・メモ BBCウェールズ・ナショナル管の桂冠指揮者・尾高氏はビッグ・マエストロだよね。名古屋でアーティスティック・コラボレーションができるなんてとても嬉しいよ。

1回券料金	S席¥6,000　A席¥5,000　B席¥4,000　C席¥3,000　D席¥2,000　Y席¥1,000（24歳以下対象・当日窓口販売のみ）
1回券発売日	9月29日（水）

続いてはイタリア最大の都市ローマです。吉松隆が滅び行く朱鷺と調性の復活によせて作曲した「哀歌」で始まり、ローマで活動したレスピーギの出世作『ローマの噴水』は言わずと知れたローマを描いた名曲です。ラフマニノフの2番では尾高忠明の持つ音楽性が遺憾なく発揮され、そのロマンティシズムにどっぷり浸ることができるでしょう。名フィル定期には2シーズン連続、10回目の登場となるマエストロ、12月定期の楽曲はいずれも愛する得意曲です。

第376回 ニューヨーク
The 376th **New York**

アメリカからは、ニューヨーク！ 2人の有名なアメリカ人作曲家の作品はもちろん、「アメリカの交響曲」と聞いて呼び起こされる楽曲のひとつは、ドヴォルザークの『新世界』で間違いないでしょう。

2011 1/21 金 6:45pm・22 土 4:00pm

2011. Jan. 21 (Fri.) 6:45pm / Jan. 22 (Sat.) 4:00pm

■アイヴズ：『カントリー・バンド』行進曲
C. Ives : "Country Band" March

■ガーシュウィン：ピアノ協奏曲ヘ調*
G. Gershwin : Piano Concerto in F*

■ドヴォルザーク：交響曲第9番ホ短調 作品95, B.178『新世界より』
A. Dvořák : Symphony No.9 in E minor, Op.95, B.178 "From the New World"

［指揮］シュテファン・ショルテス
Conductor : Stefan SOLTESZ

Photo : Eric Richmond

［ピアノ］ボリス・ギルトブルク*
Piano : Boris GILTBURG*

フィッシャー・メモ ショルテスとは僕がハンブルク歌劇場のフルート奏者時代に共演しているよ。非常に才能にあふれる指揮者で、強い個性を持っていて尊敬している。

1回券料金	S席¥7,000　A席¥6,000　B席¥5,000　C席¥4,000　D席¥3,000　Y席¥1,000（24歳以下対象・当日窓口販売のみ）
1回券発売日	9月29日（水）

大西洋を渡り新大陸へ。ニューヨークで保険業をしていたアイヴズが田舎楽団をモチーフにした行進曲は、数々の民謡などを引用したもの。若手実力派ピアニスト、ロシア系イスラエル人・ギルトブルク（1984年生）による、ニューヨークに生まれたガーシュウィンの協奏曲も楽しみ。そしてドヴォルザークがニューヨークから故国を想った、かの名曲『新世界』。欧州のオペラハウスで活躍、名高いエッセン歌劇場の音楽監督であるショルテスは日本デビューです。

第377回 ウィーン／マーラー没後100年記念プログラム
The 377th **Vienna / The 100th Anniversary Program of Mahler's Death**

2011 2/18 金 6:45pm・19 土 4:00pm

2011. Feb. 18 (Fri.) 6:45pm / Feb. 19 (Sat.) 4:00pm

［指揮］ティエリー・フィッシャー Conductor : Thierry FISCHER

■マーラー：交響曲第9番ニ長調
G. Mahler : Symphony No.9 in D major

ウィーンからは、マーラーの「マスターピース」である最後の交響曲を。初演はマーラーの死の1年後、このウィーンで行なわれました。マーラーの「Swan-Song（遺作）」です。

フィッシャー・メモ マーラーの9番は僕がやはりフルート奏者時代に、ドホナーニの指揮で初めて演奏したんだ。人類がこんな曲を書けるのか！ と、ものすごい衝撃を受けたのを覚えているよ。

1回券料金	S席¥7,000　A席¥6,000　B席¥5,000　C席¥4,000　D席¥3,000　Y席¥1,000（24歳以下対象・当日窓口販売のみ）
1回券発売日	10月27日（水）

"音楽の都"ウィーンでは、同地で活躍したマーラーの没後100年というアニヴァーサリー・イヤーを祝います。完成された交響曲としては最後の作品となる「第9番」は、マーラーの死後1912年にウィーンで初演。全曲を死のイメージが支配していると言われるこの大曲、名フィルでは2003年の10月定期（第296回、モーシェ・アッモン指揮）以来6シーズンぶりの演奏となります。1番→5番→9番と順に交響曲を追うフィッシャーの解釈やいかに。

第378回 リンツ
The 378th **Linz**

オーストリアからはもう1箇所、リンツです。モーツァルトの楽しく喜びに溢れた交響曲『リンツ』にも象徴される、ブルックナーの生地である都市です。

2011 3/11 金 6:45pm・12 土 4:00pm

2011. Mar. 11 (Fri.) 6:45pm / Mar. 12 (Sat.) 4:00pm

［指揮］小泉和裕 Conductor : Kazuhiro KOIZUMI

■モーツァルト：交響曲第36番ハ長調 K.425『リンツ』
W. A. Mozart : Symphony No.36 in C major, K.425 "Linz"

■ブルックナー：交響曲第3番ニ短調『ワーグナー』
A. Bruckner : Symphony No.3 in D minor "Wagner"

フィッシャー・メモ マエストロ小泉が前回指揮したグラズノフ「交響曲第5番」は僕も録音で聴いたよ。非常に素晴らしい演奏で本当に感激したね！

1回券料金	S席¥6,000　A席¥5,000　B席¥4,000　C席¥3,000　D席¥2,000　Y席¥1,000（24歳以下対象・当日窓口販売のみ）
1回券発売日	12月1日（水）

旅の終着点は2月同様オーストリアのリンツです。モーツァルトも一時期住んでいたこの街で作曲されたのが、ごく短期間で書き上げられた交響曲『リンツ』。そしてブルックナーが眠るこの地にちなみ、交響曲『ワーグナー』をどうぞ。ワーグナーに深く傾倒していたブルックナーが、敬愛する彼に捧げたシンフォニーです。2009年3月には名フィルでグラズノフ「交響曲第5番」を指揮し喝采を浴びたばかりの小泉和裕は2シーズンぶり、12回目の定期登場です。

すべての出演アーティストたちは、音楽の力と魔法を強く信じている方々ばかりです。私はこのシーズンを、皆さまと分かち合えることをとても楽しみにしています。1回でも多く、できればすべての回に、皆さまがコンサートホールに足を運んでいただけることを期待しています！

ティエリー・フィッシャー

定期演奏会〈「都市と音楽」シリーズ〉をお得に楽しみませんか?

定期会員のご案内

定期会員って?

名フィルの定期演奏会11公演分のチケットを通してお求めいただいた方が「定期会員」です。1公演ごとにお求めいただくよりチケットがお値打ちになるのはもちろん、会員割引や先行予約、公開ゲネプロへのご招待など様々な特典があります。注目の指揮者・ソリストが続々登場し、意欲的なプログラムでお贈りする名フィルの定期演奏会、ぜひ充実した演奏を1年にわたってお楽しみください。

席　種	セレクト・プラチナ席（限定24席）	プラチナ席	S席	A席	B席	C席	D席	Y〈ユース〉席（24歳以下）
1回券合計金額	¥140,000	¥105,000	¥70,000	¥59,000	¥48,000	¥37,000	¥26,000	¥11,000
定期会員券料金	¥98,000	¥73,500	¥49,000	¥41,300	¥33,600	¥25,900	¥18,200	¥11,000
割引額	¥42,000	¥31,500	¥21,000	¥17,700	¥14,400	¥11,100	¥7,800	割引なし

定期会員券なら 30%割引!

※定期会員券は名フィル・チケットガイドのみの取扱。　※Y〈ユース〉席のみ、定期会員券でも割引がございません。あらかじめご了承ください。

定期会員の10大特典!

01 割引料金
定期演奏会ごとに1回券をお求めいただくより30%割引になります。

02 マイシート
シーズンを通して毎回同じお席で定期演奏会をお楽しみいただけます。

03 曜日振替
満席の場合を除き、金曜日⇔土曜日の曜日振替をいたします。(要予約)

04 優先確保
次シーズンへのご継続の際、優先してお席を確保いたします。

05 先行予約
一般発売開始前に名フィル主催演奏会の先行予約のご案内をいたします。

06 会員割引
名フィル主催演奏会のチケットを10%割引でお求めいただけます。

07 会報誌贈呈
会報誌「めいふぃるだより」をお送りいたします。

08 ご芳名掲載
会場でお渡しする演奏会のプログラムにお名前を掲載いたします。

09 公開ゲネプロ
年1回、本番会場での公開ゲネプロ(総仕上げ練習)へご招待いたします。

10 サイン色紙プレゼント
毎回、定期演奏会出演者の直筆サイン色紙が抽選で当たります。

定期会員券特別一般発売日

2010 2/20 土 10:00am~

名フィル・チケットガイド 特別営業のお知らせ

◎2月20日(土)と21日(日)の10:00am~3:00pmは、名フィル・チケットガイドの特別営業日といたします。
◎2月20・21日はお電話のみの受付とさせていただきます。ウェブサイトからの受付は22日(月)9:00amからとなります。

お席についてのご注意

定期会員席は、前シーズンからの継続定期会員の方々へ優先的に案内を行なっております。そのため、座席数の少ないセレクト・プラチナ席やD席など、席種によっては一般発売前に完売となってしまう場合もございますので、あらかじめご了承ください。

お申込み・お問合せ
名フィル・チケットガイド
TEL 052-339-5666 (平日9:00am~5:30pm)
WEB http://www.nagoya-phil.or.jp/ ウェブサイトなら24時間いつでもお申込みOK! 名フィル 検索

「ブラームス・ツィクルス」&「第九」

Brahms Cycle & Beethoven the 9th Symphony

18シーズンぶりとなる〈ベートーヴェン・ツィクルス〉を実現したフィッシャーと名フィル。次に選んだのは…ブラームス! "ベートーヴェンの第10交響曲"と呼ばれる「交響曲第1番」から「第4番」、さらに豪華ソリストを迎えての協奏曲や名序曲を加えての全4回に、乞うご期待!
加えて年末恒例、「第九」が2010年もやってきます。指揮には重鎮・秋山和慶、さらに4人の歌手陣と、そしてなんと言っても大合唱団を加えた大編成が、市民会館を歓喜の歌声で震わせます!

ブラームス・ツィクルスとティエリー・フィッシャー

アルスター管弦楽団の首席指揮者兼芸術アドバイザー時代の2005年1月に、〈ブラームス・フェスト〉と題したブラームス・ツィクルスを指揮している。
※すべて指揮はティエリー・フィッシャー、会場はベルファスト、アルスター・ホール

2005 1/14 ブラームス・フェスト1

■ブラームス：ハンガリー舞曲より
■ブラームス：ヴァイオリンとチェロのための協奏曲イ短調 作品102
[ヴァイオリン]ポール・バリット
[チェロ]エンマ=ジェーン・マーフィー
■ブラームス：交響曲第2番ニ長調 作品73

《フィッシャーに導かれる管弦楽伴奏は、独奏よりはるかにカラフルに活き活きとしていた。交響曲のテンポは自在に流れ、それでいて共感できるフレーズとともに微細な部分もすべて丸く収まっていく。》
[「アイリッシュ・タイムズ」1月18日]
《フィッシャーは遅すぎず、速すぎずテンポを調整し、オーケストラから活気に満ちた演奏を引き出した。「交響曲第2番」では、フィッシャーはこの曲に対する明確な愛情を示し、ダイナミクスに特に注意を払うことで大きな興奮を呼ぶ。それは終楽章で特に効果的で、テーマの再現時には花火のような華やかさが味わえた。》
[「ニューズレター(ニュー・スペクトラム内)」1月18日]
《アルスター管の首席指揮者フィッシャーは現在すばらしい状態にある。彼は、明らかにこの作曲家の音楽を楽しんで、美しく「交響曲第2番」を導き、特に第1楽章では憂鬱さと耽美さをメロディに与えていた。》
[「ベルファスト・テレグラフ」1月15日]

2005 1/18 ブラームス・フェスト2

■ブラームス：交響曲第3番ヘ長調 作品90
■ブラームス：ピアノ協奏曲第1番ニ短調 作品15
[ピアノ]ピーター・ドノホー

《紳士的な交響曲である「第3番」では、色彩感とテクスチュアの明快さを出すためにフィッシャーは特によくスコアを読み込んでいたと思われる。この曲でフィッシャーは、ブラームスが色彩に関することと同じくらい多く、厳密な対位法としての響きを重視していたことを証明する演奏をした。》
[「ベルファスト・テレグラフ」1月20日]

2005 1/21 ブラームス・フェスト3

■ブラームス：交響曲第1番ハ短調 作品68
■ブラームス：交響曲第4番ホ短調 作品98

《フィッシャー自身が「夢のプログラム」と語る第3夜。「交響曲第4番」においてフィッシャーが美しいジェスチャーでゆっくり腕を上げ始め、オーケストラの演奏を誘ったのを見ると、まるで私たちは本当に音楽家としてのブラームスがそこにいるかのような感覚を得た。》
[「ニューズレター(ニュー・スペクトラム内)」1月25日]
《オーケストラは時たまリミッターを外して勇敢なホーン・セクションを轟かせる。ブラームスの交響曲において、この解釈は成功であった。シリーズは魅惑的な演奏で幕をおろしたが、フィッシャーとアルスター管はこのシリーズの意味のある、価値のある成功に満足するべきである。》
[「ベルファスト・テレグラフ」1月22日]

ブラームス・ツィクルスと名フィル

1994年5~10月、当時常任指揮者の飯守泰次郎をはじめ4人の指揮者でブラームス・ツィクルスを行なっている。

1994 5/18・19 第194回定期演奏会「ブラームス・ツィクルスⅠ」

会場=〈18日〉名古屋市民会館大ホール
〈19日〉愛知県芸術劇場コンサートホール
[指揮]岩城宏之
■ブラームス：ヴァイオリン協奏曲ニ長調 作品77
[ヴァイオリン]竹澤恭子
■ブラームス：交響曲第2番ニ長調 作品73

1994 6/9 第195回定期演奏会「ブラームス・ツィクルスⅡ」

会場=名古屋市民会館大ホール
[指揮]小林研一郎
■ブラームス：ヴァイオリンとチェロのための協奏曲イ短調 作品102
[ヴァイオリン]数住岸子　[チェロ]菅野博文
■ブラームス：交響曲第3番ヘ長調 作品90

1994 7/15 第196回定期演奏会「ブラームス・ツィクルスⅢ」

会場=愛知県芸術劇場コンサートホール
[指揮]飯守泰次郎
■ブラームス：ドイツ・レクイエム 作品45
[ソプラノ]佐藤しのぶ　[バリトン]木村俊光　[合唱]名古屋二期会女声合唱団、クール・ジョワイエ

1994 9/14 第197回定期演奏会「ブラームス・ツィクルスⅣ」

会場=名古屋市民会館大ホール
[指揮]外山雄三
■ブラームス：ピアノ協奏曲第1番ニ短調 作品15
[ピアノ]園田高弘
■ブラームス：交響曲第1番ハ短調 作品68

1994 10/14・15 第198回定期演奏会「ブラームス・ツィクルスⅤ」

会場=愛知県芸術劇場コンサートホール
[指揮]飯守泰次郎
■ブラームス：ピアノ協奏曲第2番変ロ長調 作品83
[ピアノ]シュテファン・ヴラダー
■ブラームス：交響曲第4番ホ短調 作品98

第196回定期演奏会

第21回 ブラームス・ツィクルス#1

The 21st **Brahms Cycle #1**

5/23 日 4:00pm

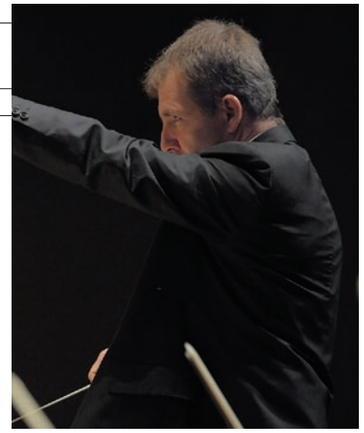
May 23 (Sun.) 4:00pm

■ブラームス：
ピアノ協奏曲第1番ニ短調 作品15*
J. Brahms : Piano Concerto No.1 in D minor, Op.15*

■ブラームス：
交響曲第1番ハ短調 作品68
J. Brahms : Symphony No.1 in C minor, Op.68

Photo : Steffen Jänicke

[ピアノ] 小菅優*
Piano : Yu KOSUGE*



[指揮] ティエリー・フィッシャー
Conductor : Thierry FISCHER

1回券料金	プラチナ席¥7,500　S席¥5,000　A席¥4,000　B席¥3,000　C席¥2,000　D席¥1,500　Y席¥1,000（24歳以下対象・当日窓口販売のみ）
1回券発売日	3月3日（水）

2009年12月「第九」からの流れを汲み、ベートーヴェンの「第10番」とも呼ばれる傑作「交響曲第1番」で<ブラームス・ツィクルス>の幕開けです。4曲が残されている協奏曲からは、若き作曲者のほとばしる才気を感じさせる、長大な「ピアノ協奏曲第1番」を。ヨーロッパで研鑽を積みながらカーネギー・ホールやザルツブルク音楽祭でのリサイタルなどで欧米の聴衆から熱狂的な支持を得、世界がその才能に注目するピアノの小菅優は、高度なテクニックと美しい音色、若々しい感性と深い楽曲理解で協奏曲を奏でます。

第22回 ブラームス・ツィクルス#2

The 22nd **Brahms Cycle #2**

8/26 木 6:45pm

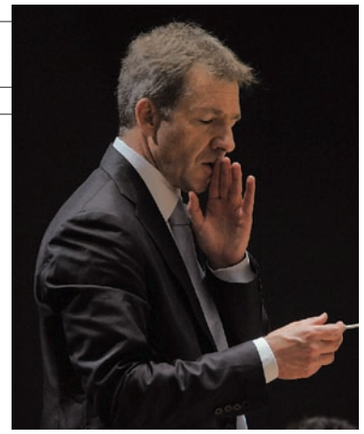
Aug. 26 (Thu.) 6:45pm

■ブラームス：
大学祝典序曲 作品80
J. Brahms : Academic Festival Overture, Op.80

■ブラームス：
ヴァイオリン協奏曲ニ長調 作品77*
J. Brahms : Violin Concerto in D major, Op.77*

■ブラームス：
交響曲第2番ニ長調 作品73
J. Brahms : Symphony No.2 in D major, Op.73

[ヴァイオリン] 川久保賜紀*
Violin : Tamaki KAWAKUBO*



[指揮] ティエリー・フィッシャー
Conductor : Thierry FISCHER

1回券料金	プラチナ席¥7,500　S席¥5,000　A席¥4,000　B席¥3,000　C席¥2,000　D席¥1,500　Y席¥1,000（24歳以下対象・当日窓口販売のみ）
1回券発売日	6月9日（水）

その牧歌的雰囲気からブラームスの『田園』とも呼ばれる「交響曲第2番」。フィッシャーがBBCウェールズ・ナショナル管やアルスター管での指揮で、評論家から特に高い評価を受けたのがこの「第2番」です。"エネルギーに溢れ、美しいもの"と評価された指揮を、ぜひ実演で。ロス出身、ロスアンジェルス・フィルやクリーヴランド管など米国の錚々たる楽団と共演を重ねる川久保賜紀は、2002年チャイコフスキー国際コンクール最高位入賞者。"三大ヴァイオリン協奏曲"の名旋律で、実力派ミューズの音楽性を感じてください。

第24回 ブラームス・ツィクルス#3

The 24th **Brahms Cycle #3**

2011 2/23 水 6:45pm

2011. Feb. 23 (Wed.) 6:45pm

■ブラームス：
悲劇的序曲 作品81
J. Brahms : Tragic Overture, Op.81

■ブラームス：
ヴァイオリンとチェロのための協奏曲イ短調 作品102*
J. Brahms : Double Concerto for Violin and Cello in A minor, Op.102*

■ブラームス：
交響曲第3番ヘ長調 作品90
J. Brahms : Symphony No.3 in F major, Op.90

[ヴァイオリン] ルー・ウェイ*
Violin : Wei LU*

[チェロ] 趙静*
Cello : Jing ZHAO*

[指揮] ティエリー・フィッシャー
Conductor : Thierry FISCHER

1回券料金	プラチナ席¥7,500　S席¥5,000　A席¥4,000　B席¥3,000　C席¥2,000　D席¥1,500　Y席¥1,000（24歳以下対象・当日窓口販売のみ）
1回券発売日	10月27日（水）

交響曲の中で一番演奏時間が短い、しかし非常に印象的なフレーズを内包する「第3番」は魅力的な一曲。最後の管弦楽作品となった「二重協奏曲」では2人の独奏の妙技と、管弦楽の醍醐味が同時に味わえます。インゴ・メッツマッハー率いるベルリン・ドイツ響の若きコンサートマスター＝ルー・ウェイと、2007年に名フィルとエルガーの協奏曲で共演、美しき哀愁のメロディを聴かせた趙静の日本初となる夫婦共演に注目が集まります。2009年4月にはマカオ管と同曲を奏でており、最高のアンサンブルが期待できるでしょう。

第25回 ブラームス・ツィクルス#4

The 25th **Brahms Cycle #4**

2011 2/27 日 4:00pm

2011. Feb. 27 (Sun.) 4:00pm

■ブラームス：
ピアノ協奏曲第2番変ロ長調 作品83*
J. Brahms : Piano Concerto No.2 in B flat major, Op.83*

■ブラームス：
交響曲第4番ホ短調 作品98
J. Brahms : Symphony No.4 in E minor, Op.98

Photo : hoshino

[ピアノ] 若林顕*
Piano : Akira WAKABAYASHI*

[指揮] ティエリー・フィッシャー
Conductor : Thierry FISCHER

1回券料金	プラチナ席¥7,500　S席¥5,000　A席¥4,000　B席¥3,000　C席¥2,000　D席¥1,500　Y席¥1,000（24歳以下対象・当日窓口販売のみ）
1回券発売日	10月27日（水）

自身の作曲技法を極限まで駆使した円熟の大作「第4番」。アルスター管でのツィクルスでは、"フィッシャーの力により楽員の持てる力すべてを出し尽くした演奏"と評されました。また、あまりにも長大なためピアノ独奏を伴う交響曲とまで言われた「ピアノ協奏曲第2番」の独奏には、2007年12月定期でのR.シュトラウス「ブルレスケ」とストラヴィンスキー『ペトルーシュカ』の鮮やかな独奏が記憶に新しい若林顕。世界各地での活躍とともに、ドイツ音楽の奥深いアプローチ、自在な音色の表現に定評があります。

第23回

第九コンサート

The 23rd **Beethoven the 9th Symphony**

12/22 水 6:45pm・23 木・祝 4:00pm

Dec. 22 (Wed.) 6:45pm / Dec. 23 (Thu.) 4:00pm

■ベートーヴェン：
序曲『献堂式』作品124
L. v. Beethoven : "Die Weihe des Hauses", Op.124 Overture

■ベートーヴェン：
交響曲第9番ニ短調 作品125『合唱付』*
L. v. Beethoven : Symphony No.9 in D minor, Op.125 "Choral"*

[指揮] 秋山和慶
Conductor : Kazuyoshi AKIYAMA

[ソプラノ] 國光ともこ*
Soprano : Tomoko KUNIMITSU*

[メゾ・ソプラノ] 清水華澄*
Mezzo-soprano : Kasumi SHIMIZU*

[テノール] 大槻孝志*
Tenor : Takashi OTSUKI*

[バリトン] 福島明也*
Baritone : Akiya FUKUSHIMA*

[合唱] 愛知県合唱連盟* Chorus : Aichi Chorus League*

1回券料金	プラチナ席¥9,000　S席¥6,000　A席¥5,000　B席¥4,000　C席¥3,000　D席¥2,000　Y席¥1,000（24歳以下対象・当日窓口販売のみ）
1回券発売日	9月29日（水）

ブラームスの作曲活動に多大な影響を与えたベートーヴェン。特に交響曲に関しては"ベートーヴェンに匹敵する作品を"とブラームスは推敲に推敲を重ね、「交響曲第1番」を作曲するのに20年も費やしたことはよく知られています。ともあれ実力派ソリストと地元合唱団の年末恒例の歌声をお楽しみに。現在は東京響桂冠指揮者、広島響音楽監督・常任指揮者、九州響首席指揮者＆ミュージック・アドヴァイザーを兼任する重鎮・秋山和慶は、実に12シーズンぶりの名フィル再登場です!

<市民会館名曲シリーズ>をお得に、セットで楽しみませんか?

セット券のご案内

セット券って?

名フィルの市民会館名曲シリーズ5公演分のチケットを通してお求めいただけるのが「セット券」です。1公演ごとにお求めいただくよりチケットがお値打ちになり、毎回同じお席（マイシート）でお聴きいただけます。常任指揮者フィッシャーが名フィルとの3シーズン目に選んだブラームス、さらに巨匠・秋山の「第九」、それぞれ荘厳な交響曲の世界をお得に、存分にお楽しみください。

席種	プラチナ席	S席	A席	B席	C席	D席	Y〈ユース〉席（24歳以下）
1回券合計金額	¥39,000	¥26,000	¥21,000	¥16,000	¥11,000	¥8,000	¥5,000
セット券なら					30%割引!		
定期会員券料金	¥27,300	¥18,200	¥14,700	¥11,200	¥7,700	¥5,600	¥5,000
割引額	¥11,700	¥7,800	¥6,300	¥4,800	¥3,300	¥2,400	割引なし

※セット券は名フィル・チケットガイドのみの取扱。　※Y〈ユース〉席のみ、セット券でも割引がございません。あらかじめご了承ください。

セット券の特典

01 割引料金
演奏会ごとに1回券をお求めいただくより30%お値打ちになります。（Y〈ユース〉席を除きます）

02 マイシート
5回を通して毎回同じお席で<市民会館名曲シリーズ>をお楽しみいただけます。

セット券特別一般発売日

2010 2/20 土 10:00am~

名フィル・チケットガイド特別営業のお知らせ

◎2月20日（土）と21日（日）の10:00am~3:00pmは、名フィル・チケットガイドの特別営業日といたします。
◎2月20・21日はお電話のみの受付とさせていただきます。ウェブサイトからの受付は22日（月）9:00amからとなります。

お席についてのご注意

セット券は、前シーズンもセット券をお求めいただいた方々へ優先的に案内を行なっております。そのため、座席数の少ないプラチナ席やD席など、席種によっては一般発売前に完売となってしまう場合もございますので、あらかじめご了承ください。

市民会館 名曲シリーズ
FAMOUS WORKS SERIES AT CHUKYO UNIVERSITY CENTER FOR CULTURE & ARTS

お申込み・お問合せ
名フィル・チケットガイド
TEL 052-339-5666（平日9:00am~5:30pm）
WEB http://www.nagoya-phil.or.jp/ ウェブサイトなら24時間いつでもお申込みOK! 名フィル 検索

2010.4-2011.3 SEASON

Concert Calendar

Nagoya Philharmonic Orchestra

2010.4-2011.3 シーズン コンサート･カレンダー

- … 金曜定期演奏会
- … 土曜定期演奏会
- … 市民会館名曲シリーズ
- … 東京公演
- … コバケン･スペシャル
- … しらかわシリーズ
- … ポップスコンサート

2010 **4** APRIL

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2010 **5** MAY

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2010 **6** JUNE

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

2010 **7** JULY

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2010 **8** AUGUST

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2010 **9** SEPTEMBER

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

2010 **10** OCTOBER

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2010 **11** NOVEMBER

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2010 **12** DECEMBER

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2011 **1** JANUARY

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2011 **2** FEBRUARY

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

2011 **3** MARCH

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

第20回市民会館名曲シリーズ「ベートーヴェン･ツィクルス#5」（中京大学文化市民会館オーロラホール　指揮=ティエリー･フィッシャー）撮影=2009年12月18日　Photo: Kosaku Nakagawa

2011.4-2012.3 シーズン･カレンダー

2011 **4** APRIL

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2011 **5** MAY

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2011 **6** JUNE

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

2011 **7** JULY

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2011 **8** AUGUST

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2011 **9** SEPTEMBER

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2011 **10** OCTOBER

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2011 **11** NOVEMBER

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2011 **12** DECEMBER

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2012 **1** JANUARY

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2012 **2** FEBRUARY

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29				

2012 **3** MARCH

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

※2011.4-2012.3シーズンの定期演奏会開催日程は変更する場合もございます。　※2012.1-3の定期演奏会日程は未定です。

PROFILE

桂冠指揮者

小林 研一郎

Conductor Laureate : Ken'ichiro KOBAYASHI

オフィシャル・ウェブサイト
http://www.it-japan.co.jp/kobaken/

東京芸術大学作曲科・指揮科の両科を卒業。作曲を石桁眞礼生、指揮を渡邉暁雄、山田一雄の各氏に師事。1974年第1回ブダペスト国際指揮者コンクール第1位、特別賞を受賞。
ヨーロッパの多くの音楽祭や一流オーケストラを多数指揮。ハンガリー国立響およびネザーランド・フィルのヨーロッパ・日本公演や、東京都響、読売日響、日本フィルのヨーロッパ公演の指揮者、国際指揮者コンクール審査員、東京都響正指揮者、東京響客演指揮者、ハンガリー国立響、京都市響、名フィルの音楽総監督・常任指揮者、チェコ・フィル常任客演指揮者、日本フィル音楽監督、東京芸術大学指揮科教授などを歴任。ハンガリー政府よりリスト記念勲章、ハンガリー文化勲章、星付中十字勲章（民間人としては最高の勲章）を授与される。現在、アーネム・フィル常任指揮者、ハンガリー国立フィルと名フィルの桂冠指揮者、マタヴ・ハンガリー響、九州響の首席客演指揮者、東京音楽大学客員教授の任にある。
2000年の日蘭交流400周年に作曲を委嘱され、管弦楽曲「パッサカリア」を作曲、ネザーランド・フィルの演奏で初演された。2002年5月「プラハの春」国際音楽祭にチェコ・フィルを指揮して登場、大統領臨席のもとスメタナ『わが祖国』全曲を演奏、日本人初の快挙として数多くのメディアに紹介された。2007年2-3月、2009年3月にはオランダのアーネム・フィルとの日本ツアーを指揮し、好評を博した。国内外のオーケストラへの客演も数多く、現在最も活躍し注目されている指揮者である。

久々の定期演奏会登場を果たす桂冠指揮者＝小林研一郎の人気シリーズ〈コバケン・スペシャル〉は、2010.4-2011.3シーズンも引き続き開催いたします。ファン待望のオール・ロシアン・プログラムで、名フィルをまるでロシアのオーケストラのごとく熱く燃やすことでしょう。また、共演する3人の女性ソリストたちも舞台に華を添えること間違いありません。

Vol.19 ロシアン・フェスティヴァル1

Vol.19 **Russian Festival 1**

6/25 金 6:45pm

Jun. 25 (Fri.) 6:45pm

■チャイコフスキー：弦楽セレナード ハ長調 作品48
P. Tchaikovsky : Serenade for Strings in C major, Op.48

■チャイコフスキー：ロココ風の主題による変奏曲 作品33*
P. Tchaikovsky : Variations on a Rococo Theme, Op.33*

■チャイコフスキー：幻想序曲『ロメオとジュリエット』
P. Tchaikovsky : Fantasy Overture "Romeo and Juliet"

Photo : Yuji Hori

［チェロ］遠藤真理*
Cello : Mari ENDO*

［指揮］小林研一郎
Conductor : Ken'ichiro KOBAYASHI

チケット料金	セレクト・プラチナ席¥12,000　プラチナ席¥9,000　S席¥6,000　A席¥5,000　B席¥4,000　C席¥3,000　D席¥ 2,000　Y席¥1,000（24歳以下対象・当日窓口販売のみ）
チケット発売日	4月7日（水）

〈ロシアン・フェスティヴァル〉の幕開けはコバケンの十八番オール・チャイコフスキー・プログラムで。あまりにも序奏が有名な「弦楽セレナード」を存分に堪能したあとは、チェリスト＝遠藤真理が久々の登場です。最近はソリストとしてのみではなく、川久保賜紀（ヴァイオリン）、三浦友理枝（ピアノ）とのトリオでの活動も活発。2004年10月の〈コバケン・スペシャルVol.2〉でも「ロココ風」で炎のコバケンと共演した、あの感動が再び名古屋で蘇ります。そして最後は劇的な序曲『ロメオとジュリエット』でフィナーレ!

Vol.20 ロシアン・フェスティヴァル2

Vol.20 **Russian Festival 2**

10/27 水 6:45pm

Oct. 27 (Wed.) 6:45pm

■ムソルグスキー［リムスキー＝コルサコフ編］：交響詩『はげ山の一夜』
M. Mussorgsky [arr. N. Rimsky-Korsakov] : Night on Bald Mountain

■ゲディケ：ホルン協奏曲ヘ短調 作品40*
A. Goedicke : Horn Concerto in F minor, Op.40*

■リムスキー＝コルサコフ：序曲『ロシアの復活祭』作品36
N. Rimsky-Korsakov : "Russian Easter Festival" Overture, Op.36

■チャイコフスキー：序曲『1812年』作品49
P. Tchaikovsky : Festival Overture "The Year 1812", Op.49

［ホルン］安土真弓*（名フィル ホルン奏者）
Horn : Mayumi ANZUCHI*

［指揮］小林研一郎
Conductor : Ken'ichiro KOBAYASHI

チケット料金	セレクト・プラチナ席¥12,000　プラチナ席¥9,000　S席¥6,000　A席¥5,000　B席¥4,000　C席¥3,000　D席¥ 2,000　Y席¥1,000（24歳以下対象・当日窓口販売のみ）
チケット発売日	7月28日（水）

第2回目は大砲を使用することで有名な序曲『1812年』をはじめとする、ロシア音楽に対するコバケンの愛情がにじみ出るプログラム。満を持してソリストとして登場するのは、若き名フィル・ホルン奏者の安土真弓。2008年開催の日本音楽コンクール・ホルン部門で第2位に輝くとともに、岩谷賞（聴衆賞）、全部門から最も印象に残った演奏に贈られる増沢賞を受賞した名フィルのホープです。コバケンとは学生時代に共演しているというゲディケの「ホルン協奏曲」の再演に注目が集まります。

Vol.21 ロシアン・フェスティヴァル3

Vol.21 **Russian Festival 3**

2011 3/30 水 6:45pm

2011. Mar. 30 (Wed.) 6:45pm

■チャイコフスキー：歌劇『エフゲニー・オネーギン』作品24より「ポロネーズ」
P. Tchaikovsky : 'Polonaise' from "Eugene Onegin", Op. 24

■ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番ハ短調 作品18*
S. Rachmaninov : Piano Concerto No.2 in C minor, Op.18*

■ムソルグスキー［ラヴェル編］：組曲『展覧会の絵』
M. Mussorgsky [arr. M. Ravel] : Pictures at an Exhibition

［ピアノ］小林亜矢乃*
Piano : Ayano KOBAYASHI*

［指揮］小林研一郎
Conductor : Ken'ichiro KOBAYASHI

チケット料金	セレクト・プラチナ席¥12,000　プラチナ席¥9,000　S席¥6,000　A席¥5,000　B席¥4,000　C席¥3,000　D席¥ 2,000　Y席¥1,000（24歳以下対象・当日窓口販売のみ）
チケット発売日	12月1日（水）

新シリーズ第3回目には小林父娘の共演が待っています。前回の登場（2009年1月）ではベートーヴェンの「協奏曲第4番」で共演し、TVの取材も入るなど多くの話題と感動を呼びました。今回は超名曲ラフマニノフの「協奏曲第2番」。父娘ならではの息の合ったアンサンブルは感涙必至です。ムソルグスキーのピアノ組曲を"管弦楽の魔術師"ことラヴェルが編曲した『展覧会の絵』は文句なしの名曲。名フィルのプレイヤーたちによる非常に技巧的なパッセージと、コバケンの熱きパッションの相乗効果に魂が震えるでしょう。

三井住友海上しらかわホールを舞台に小編成のオーケストラの魅力を伝えているのが、しらかわシリーズ。しらかわホールとの共催で、クラシック音楽専用の中規模ホールならではの、ユニークで魅力的な企画を毎回お届けしています。2010.4-2011.3シーズンには常任指揮者ティエリー・フィッシャーの初登場と、おなじみライナー・ホーネックの弾き振りをお贈りいたします。

三井住友海上 しらかわホール

〈しらかわシリーズの変遷〉

※Vol.4までは「室内オーケストラシリーズ」というタイトルでお贈りしていました。

2003 6/11 Vol.1 シューマン・ツィクルスI

[指揮]沼尻竜典
■シューマン：ピアノ協奏曲イ短調 作品54
[ピアノ]田部京子
■シューマン：交響曲第3番変ホ長調 作品97「ライン」

2004 1/16 Vol.2 ウィーンからの贈り物

[指揮・ヴァイオリン]ライナー・ホーネック
■モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第5番イ長調 K.219「トルコ風」
■ハイドン：交響曲第88番ト長調 Hob.I-88「V字」
■ヨハン・シュトラウスII世：ペルシャ行進曲 作品289
■ヨハン・シュトラウスII世：ポルカ・マズルカ「町といなか」作品289
■ヨハン・シュトラウスII世：ワルツ「ウィーン気質」作品354
■ヨハン・シュトラウスII世&ヨゼフ・シュトラウス：ピチカート・ポルカ
■ヨハン・シュトラウスII世：トリッチ・トラッチ・ポルカ 作品214
■ヨゼフ・シュトラウス：ワルツ「わが人生は愛と喜び」作品263
■ヨハン・シュトラウスII世：喜歌劇「騎士パズマン」作品441より「チャールダーシュ」

2004 6/10 Vol.3 シューマン・ツィクルスII

[指揮]沼尻竜典
■シューマン：交響曲第4番ニ短調 作品120
■シューマン：交響曲第1番変ロ長調 作品38「春」

2005 1/16 Vol.4 シューマン・ツィクルスIII

[指揮]ゲルハルト・ボッセ
■シューマン：歌劇「ゲノヴェーヴァ」作品81 序曲
■シューマン：チェロ協奏曲イ短調 作品129
[チェロ]石坂団十郎
■シューマン：交響曲第2番ハ長調 作品61

2005 6/5 Vol.5 ボッセ教授の大バッハ

[指揮]ゲルハルト・ボッセ
■バッハ：管弦楽組曲第2番ロ短調 BWV1067
[フルート]富久田治彦
■バッハ：ブランデンブルク協奏曲第3番ト長調 BWV1048
■バッハ：オーボエとヴァイオリンのための協奏曲ニ短調 BWV1060a
[オーボエ]山本直人　[ヴァイオリン]日比浩一
■バッハ：ブランデンブルク協奏曲第5番ニ長調 BWV1050
[ヴァイオリン]日比浩一　[フルート]橋本岳人　[チェンバロ]辰巳美納子
■バッハ：管弦楽組曲第3番ニ長調 BWV1068

2006 1/21 Vol.6 ウィーンからの贈り物II

[指揮・ヴァイオリン]ライナー・ホーネック
■モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第3番ト長調 K.216
■モーツァルト：交響曲第29番イ長調 K.201 (186a)
■ヨハン・シュトラウスII世：喜歌劇「こうもり」序曲
■ヨゼフ・シュトラウス：ポルカ・マズルカ「女心」作品166
■エドゥアルト・シュトラウス：ポルカ「粋に」作品221
■ヨハン・シュトラウスII世：ワルツ「芸術家の生活」作品316
■ヨハン・シュトラウスII世：新ピチカート・ポルカ 作品449
■ヨハン・シュトラウスII世：ポルカ「クラップフェンの森で」作品336
■ヨゼフ・シュトラウス：ジョッキー・ポルカ 作品278
■ヨハン・シュトラウスII世：ワルツ「南国のばら」作品388

2006 6/25 Vol.7 ボッセ教授の大バッハII

[指揮]ゲルハルト・ボッセ
■バッハ：ブランデンブルク協奏曲第1番ヘ長調 BWV1046
[ホルン]野々口義典、安土真弓　[オーボエ]山本直人、寺島陽介、諸岡研史
■バッハ：チェンバロ協奏曲第4番イ長調 BWV1055
[チェンバロ]辰巳美納子
■バッハ：ヴァイオリン協奏曲第1番イ短調 BWV1041
[ヴァイオリン]日比浩一
■バッハ：管弦楽組曲第1番ハ長調 BWV1066
■バッハ：カンタータ第51番「もろびとよ、歓呼して神を迎えよ」BWV51
[ソプラノ]平松英子　[トランペット]藤島謙治

2007 1/27 Vol.8 ウィーンからの贈り物III

[指揮・ヴァイオリン]ライナー・ホーネック
■モーツァルト：歌劇「皇帝ティートの慈悲」K.621 序曲
■モーツァルト：ホルン協奏曲第2番変ホ長調 K.417
[ウィンナ・ホルン]ヴォルフガング・トムベック
■モーツァルト：ホルン協奏曲第4番変ホ長調 K.495
[ウィンナ・ホルン]ヴォルフガング・トムベック
■ヨハン・シュトラウスII世：喜歌劇「ジプシー男爵」序曲
■ヨハン・シュトラウスII世：エジプト行進曲 作品335
■ヨゼフ・シュトラウス：かじやのポルカ 作品269
■ヨゼフ・シュトラウス：ワルツ「オーストリアの村つばめ」作品164
■ヨゼフ・シュトラウス：ポルカ・マズルカ「遠方から」作品270
■ヨハン・シュトラウスII世：狂乱のポルカ 作品260
■ヨハン・シュトラウスII世：ワルツ「千夜一夜」作品346

2007 6/9 Vol.9 ボッセ教授の大バッハIII

[指揮]ゲルハルト・ボッセ
■バッハ：ブランデンブルク協奏曲第6番変ロ長調 BWV1051
■バッハ：カンタータ第199番「わが心は血の海に泳ぐ」BWV199
[ソプラノ]平松英子
■バッハ：カンタータ第202番「消えよ、悲しみの影」BWV202（結婚カンタータ）
[ソプラノ]平松英子
■バッハ：管弦楽組曲第4番ニ長調 BWV1069

2008 1/24 Vol.10 ウィーンからの贈り物IV「モーツァルトの夕べ」

[指揮・ヴァイオリン]ライナー・ホーネック
■モーツァルト：歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」K.588 序曲
■モーツァルト：ピアノ協奏曲第23番イ長調 K.488
[ピアノ]伊藤恵
■モーツァルト：セレナード第7番ニ長調 K.250 (248b)「ハフナー」

2008 5/25 Vol.11 ボッセ教授の大バッハIV

[指揮]ゲルハルト・ボッセ
■バッハ：ブランデンブルク協奏曲第4番ト長調 BWV1049
[ヴァイオリン]日比浩一　[ブロックフレーテ]太田光子、宇治川朝政
■バッハ：2つのヴァイオリンのための協奏曲ニ短調 BWV1043
[第1ヴァイオリン]日比浩一　[第2ヴァイオリン]矢口十詩子
■バッハ：カンタータ第82番「われは満ち足れり」BWV82
[ソプラノ]平松英子
■バッハ：カンタータ第209番「悲しみを知らぬ者」BWV209
[ソプラノ]平松英子
■バッハ：ブランデンブルク協奏曲第2番ヘ長調 BWV1047
[トランペット]高橋敦　[ブロックフレーテ]太田光子
[オーボエ]山本直人　[ヴァイオリン]日比浩一

2009 1/24 Vol.12 ウィーンからの贈り物V

[指揮・ヴァイオリン]ライナー・ホーネック
■メンデルスゾーン：劇音楽「真夏の夜の夢」序曲 作品21
■メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲ホ短調 作品64
■ヨゼフ・シュトラウス：ワルツ「うわごと」作品212
■ヨハン・シュトラウスII世：ポルカ「舞踏会のかわいらしい花束」作品380
■ヨハン・シュトラウスII世：ポルカ・マズルカ「蜃気楼」作品330
■ヨハン・シュトラウスII世：チク・タク・ポルカ 作品365
■ヨゼフ・シュトラウス：ワルツ「天体の音楽」作品235
■ヨゼフ・シュトラウス：ポルカ「短いことづて」作品240
■ヨハン・シュトラウスII世：常動曲 作品257
■ヨハン・シュトラウスII世：ワルツ「美しく青きドナウ」作品314

2009 7/18 Vol.13 アマデウス・シンフォニーI

[指揮]広上淳一（ゲルハルト・ボッセ体調不良により代役）
■モーツァルト：交響曲第35番ニ長調 K.385「ハフナー」
■モーツァルト：クラリネット協奏曲イ長調 K.622
[クラリネット]ティモシー・カーター
■モーツァルト：交響曲第39番変ホ長調 K.543

2010 1/31 Vol.14 アマデウス・シンフォニーII

[指揮・ヴァイオリン]ライナー・ホーネック
■モーツァルト：交響曲第36番ハ長調 K.425「リンツ」
■モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第1番変ロ長調 K.207
■モーツァルト：交響曲第38番ニ長調 K.504「プラハ」

Vol.15 フィッシャーのブラームス

Vol.15 Thierry Fischer's Brahms

8/29 日 4:00pm

Aug. 29 (Sun.) 4:00pm

■ブラームス：
セレナード第2番イ長調 作品16
J. Brahms : Serenade No.2 in A major, Op.16

■ハイドン：
トランペット協奏曲変ホ長調 Hob.VIIe-1*
F. J. Haydn : Trumpet Concerto in E flat major, Hob.VIIe-1*

■ブラームス：
ハイドンの主題による変奏曲 作品56a
J. Brahms : Variations on a Theme of Haydn, Op.56a

[トランペット]藤島謙治*
〈名フィル 首席トランペット奏者〉
Trumpet : Kenji FUJISHIMA*

[指揮]ティエリー・フィッシャー
Conductor : Thierry FISCHER

チケット料金	S席¥6,000　A席¥4,500　B席¥3,000　Y席¥1,000（24歳以下対象・当日窓口販売のみ）
チケット発売日	6月9日（水）

〈ブラームス・ツィクルス〉に連動し、しらかわシリーズでもブラームスの夕べをどうぞ。クララ・シューマンが"信じられないほどの美しさ"と評した「セレナード第2番」と、「ハイドン・ヴァリエーション」の小編成管弦楽作品2曲を、格調高いしらかわホールの音響とともにお楽しみください。ハイドン繋がりで贈る「トランペット協奏曲」では名フィルの名手による輝かしい音色にご期待あれ。常任指揮者フィッシャーはしらかわホールに初登場です!

Vol.16 アマデウス・シンフォニーIII

Vol.16 Amadeus Symphonies 3

2011 1/29 土 4:00pm

2011. Jan. 29 (Sat.) 4:00pm

■モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第2番ニ長調 K.211
W. A. Mozart : Violin Concerto No.2 in D major, K.211

■モーツァルト：交響曲第40番ト短調 K.550
W. A. Mozart : Symphony No.40 in G minor, K.550

■モーツァルト：交響曲第41番ハ長調 K.551「ジュピター」
W. A. Mozart : Symphony No.41 in C major, K.551 "Jupiter"

[指揮・ヴァイオリン]ライナー・ホーネック
Conductor, Violin : Rainer HONECK

チケット料金	S席¥6,000　A席¥4,500　B席¥3,000　Y席¥1,000（24歳以下対象・当日窓口販売のみ）
チケット発売日	10月27日（水）

昨シーズンから続く〈アマデウス・シンフォニー〉の第3回目には、おなじみ首席客演コンサートマスターのライナー・ホーネックが登場。弾き振りの妙技で、まずは「ヴァイオリン協奏曲第2番」を楽しんで。後期交響曲からは最後の2曲、第40・41番をどうぞ。モーツァルトが築き上げた交響曲の真髄を、一夜で2曲続けて楽しむ贅沢はいかがでしょうか。ホーネックの指揮は名フィルのストリングスから、ウィーン伝統の響きを引き出すことでしょう。

ボブ佐久間をミュージック・ディレクターに迎えて活動している“名フィル・ポップス・オーケストラ”。毎回多くのお客様で大盛況となっている真夏とクリスマスの年2回のコンサートは、名古屋の風物詩となっています。2010.4-2011.3シーズンは、15周年の記念すべきシーズンとなり、一層盛りだくさんの凝った編曲作品を披露してくれることでしょう。

PROFILE

ポップスオーケストラ・ミュージックディレクター

ボブ佐久間

Pops Orchestra Music Director : Bob SAKUMA

わずか19歳で東京交響楽団第1ヴァイオリン奏者となり、21歳でジャズ・ピアニストに、23歳で作曲家としてデビュー後、数多くのTVドラマ・音楽番組を手掛ける。1977年よりハリウッドに在住。1985年に帰国後は、壮大かつ多彩な作・編曲力を武器に、国内はもとよりフランス映画まで幅広く無数のサウンドトラックを手掛け好評を得ている。1995年より名フィル・ポップスオーケストラのミュージックディレクターに就任し注目を浴びる。その後、国内主要オーケストラをはじめ、スーパー・ワールドオーケストラなどからもゲスト・コンダクターとして招かれており、2006年11月には英ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団とのコンサートを成功させ鮮烈なロンドン・デビューを飾った。また、韓国ドラマ「冬のソナタ」、「美しき日々」などのクラシックコンサートで編曲・指揮を担当し、女優チェ・ジウ氏とも度々共演するなど、幅広いジャンルにおいて活躍中。

名フィル・ポップスにも、毎年素晴らしい編曲作品を提供しており、2003年に交響組曲『SAKURA』、2004年に「THE EPITOME（縮図）」を作曲・初演して好評を博した。2006年には交響詩『名古屋城』を作曲。その中から第7楽章の「賛歌・復活の鼓動」に自ら作詞した「煌めきの未来へ」が2007年春にCDリリースされた。「より多くの人々にもっと気軽にオーケストラを楽しんでもらうこと」をライフワークに、毎回のコンサートを楽しませてくれる音楽の料理人である。

PROFILE

名フィル・ポップスオーケストラ

Nagoya Philharmony Pops Orchestra

1995年4月、ボブ佐久間が名古屋フィルハーモニー交響楽団ポップス部門のミュージックディレクター（音楽監督）に就任し、名フィル・ポップスとして活動を始める。就任記念作品である「ガーシュウィンの主題によるシンフォニック・ファンタジア“サマータイム”」からボブ佐久間と名フィル・ポップスは、常に新鮮な作品を発表し続け、数々の名演によりファンを着実に増やしている。

2002年2月にはすみだトリフォニーホールで初の東京公演を開催し、聴衆を圧倒する熱演で好評を博した。恒例の「サマー・ポップスコンサート」は毎年大盛況となっており、2004年12月にはファンの皆様からの熱い要望にお応えして「クリスマス・ポップスコンサート」をスタートさせ、冬のポップスとして定着している。2003年春に発売したオリジナル作品によるCDは、日本航空（JAL）機内放送プログラムに採用されるなど絶賛されている。また、2005年2月には「サマー・ポップスコンサート」をライヴ収録した2枚組のCDを発売し、こちらも好評を得ている。2007年4月には「煌めきの未来へ」とのカップリングで、交響詩『名古屋城』のCDもリリースされた。ポップス部門の音楽監督を置いているオーケストラの存在は貴重で、現在、各方面から注目を浴び、更なる今後の活動が期待されている。

〈活動履歴〉

※名フィル主催公演のみ、曲目は抜粋、指揮はすべてボブ佐久間

1995年8月20日
'95サマー・ポップスコンサート
「ボブ佐久間ポップスオーケストラ・ミュージックディレクター就任記念」
［ゲスト］錦織一清
■ボブ佐久間：ガーシュウィンの主題によるシンフォニック・ファンタジア“サマー・タイム”

1996年8月20日
'96サマー・ポップスコンサート
「ミュージカルたちの仮面舞踏会」
［ゲスト］細川俊之、入絵加奈子、風雅なおと、名倉加代子
■バーンスタイン：「ウェスト・サイド物語」より「シンフォニック・ダンス」

1997年8月22日
'97サマー・ポップスコンサート「悲しみへの誘い」
［ゲスト］南安雄、矢崎滋
■ボブ佐久間編：せつなく哀しい愛と別離の大メドレー

1998年8月21日
'98サマー・ポップスコンサート
「作曲家たちのアメリカン・ドリーム」
■ボブ佐久間編：ジョージ・ガーシュウィン・メドレー

1999年8月20日
'99サマー・ポップスコンサート
「映画音楽の華麗なる饗宴」
■ボブ佐久間編：H.マンシーニ vs J.ウィリアムズ

2000年8月19日
2000サマー・ポップスコンサート
「地球に抱かれた詩 ～海・山・川が奏でる、蒼ききらめきを謳う」
■ボブ佐久間編：南太平洋メドレー

2001年8月19日
2001サマー・ポップスコンサート
「ROMANTIC～全曲リクエストによる構成」
■ボブ佐久間編：ミュージカル・メドレー

2002年2月11日
地方都市オーケストラ・フェスティバル2002
■ボブ佐久間編：スペイン

2002年8月18日
サマー・ポップスコンサート2002「花」
■ボブ佐久間編：バラのメドレー

2003年8月17日
サマー・ポップスコンサート2003
「音楽グルメ世界紀行」
■ボブ佐久間：ガーシュウィンの主題によるシンフォニック・ファンタジア“サマー・タイム”2003

2004年8月21日
サマー・ポップスコンサート
「10 Years Anniversary」
［共演］稲本響（ピアノ）
■ボブ佐久間：エピトーム（縮図）～10周年のための～

2004年12月21日
クリスマス・ポップスコンサート2004
■ボブ佐久間編：クリスマス! クリスマス!! クリスマス!!!

2005年1月30日
賛助会員スペシャル・コンサート
［ゲスト］曾我廼家寛太郎
■ボブ佐久間編：「日本の花」メドレー

2005年8月10日
サマー・ポップスコンサート2005「英流です!!」
［共演］The Eimer Quintet
■ボブ佐久間編：シンフォニックィーン

2005年12月17日
クリスマス・ポップスコンサート2005
■ボブ佐久間編：寒流メドレー

2006年8月19日
サマー・ポップスコンサート2006
「Let's Talk about LOVE～愛について語ろう」
■ボブ佐久間編：ラヴ・アット・ザ・ムーヴィーズVol.1

2006年12月19日
クリスマス・ポップスコンサート2006
■ボブ佐久間編：ラヴ・アット・ザ・ムーヴィーズVol.2

2007年8月18日
サマー・ポップスコンサート2007
■ボブ佐久間編：ドリームズ・アット・ディズニー

2007年12月19日
クリスマス・ポップスコンサート2007
［ゲスト］新妻聖子
■ボブ佐久間：煌めきの未来へ

2008年8月10日
サマー・ポップスコンサート2008
「GOOD OLDシリーズ―懐古主義への誘い―」
■ボブ佐久間編：U.S.ヒットチャートVol.1 60's

2008年12月24日
クリスマス・ポップスコンサート2008
「GOOD OLDシリーズⅡ」
■ボブ佐久間編：グッド・オールド・スイング

2009年8月7日
サマー・ポップスコンサート2009
「アレンジャーズ・サミット with 名フィル・ポップス」
［ゲスト］服部克久、服部隆之、丸山和範
■ボブ佐久間、服部隆之、丸山和範、服部克久編：上を向いて歩こう

2009年12月23日
クリスマス・ポップスコンサート2009
■ボブ佐久間編：映画『ハート・オブ・ウーマン』より

サマー・ポップスコンサート2010

Summer Pops Concert 2010

8/6 金 6:45pm

Aug. 6 (Fri.) 6:45pm

会場＝中京大学 文化市民会館 オーロラホール
Chukyo University Center for Culture & Arts Aurora Hall

■ボブ佐久間 アレンジ作品（未定）

［指揮］ボブ佐久間
Conductor : Bob SAKUMA

チケット料金	プラチナ席¥7,500 S席¥5,000 A席¥4,000 B席¥3,000 C席¥2,000 D席¥1,500 Y席¥1,000（24歳以下対象・当日窓口販売のみ）
チケット発売日	6月9日（水）

15周年を迎えることになるボブ佐久間＆名フィル・ポップスオーケストラ。16回目の夏に贈る「サマー・ポップスコンサート」では今回も趣向を凝らしたメニューを用意して、シェフ＝ボブ佐久間が皆さまのご来場をお待ちしております。

クリスマス・ポップスコンサート2010

Christmas Pops Concert 2010

12/10 金 6:45pm

Dec. 10 (Fri.) 6:45pm

会場＝愛知県芸術劇場 コンサートホール
Aichi Prefectural Art Theater Concert Hall

■ボブ佐久間 アレンジ作品（未定）

［指揮］ボブ佐久間
Conductor : Bob SAKUMA

チケット料金	セレクト・プラチナ席¥12,000 プラチナ席¥9,000 S席¥6,000 A席¥5,000 B席¥4,000 C席¥3,000 D席¥2,000 Y席¥1,000（24歳以下対象・当日窓口販売のみ）
チケット発売日	9月29日（水）

12月に夢のような時間をお贈りしている「クリスマス・ポップスコンサート」は好評につき7回目の開催。今回はクリスマスにはちょっと早いですが、街のイルミネーションとともに雰囲気満点のムーディーな時間をホールにもたらすでしょう。

お電話でのお申込み・お支払い

名フィル・チケットガイド（平日9:00am～5:30pm） TEL **052-339-5666**

01 ご希望の公演をお伺いし、お席をご案内いたします。

02 ご指定のご住所に、チケットとコンビニエンスストアの払込票を郵送いたします。
★郵送料、払込手数料無料!

03 期限日までに代金をお支払いください。
※公演日が迫っている場合、当日会場でのチケットのお渡し、代金のお支払いになることがございます。

名フィル・チケットガイド窓口でのお申込み・お支払い

名フィル・チケットガイド（平日9:00am～5:30pm）
〒460-0022 名古屋市中区金山1-4-10
名古屋市音楽プラザ4F（名フィル事務局内　地図=P.31）

01 チケット発券端末の座席表で残席状況を見ながら、ご希望の公演のお席をお選びいただけます。

02 現金、あるいは名フィルカード「ハーモニー」で代金をお支払いください。

03 チケットはその場で発券してお渡しいたします。

ウェブサイトでのお申込み・お支払い

名フィル公式ウェブサイト
http://www.nagoya-phil.or.jp/

01 ご希望演奏会のページから、ページ下部の「チケット予約」へとお進みください。

02 ご希望の席種、枚数をご入力いただき、お申込みください（詳細な座席指定はできません）。

03 確認のメールをお送りいたします。

04 ご指定のご住所に、チケットとコンビニエンスストアの払込票を郵送いたします。
★郵送料、払込手数料無料!

05 期限日までに代金をお支払いください。
※公演日の1週間前でウェブサイトからのお申込みは締め切らせていただきます。公演直前のお申込みはお電話をご利用ください。

プレイガイドでのお申込み

- チケットぴあ…… TEL 0570-02-9999
- ローソンチケット…… TEL 0570-000-777（定期演奏会は除く）
- 愛知芸術文化センター内プレイガイド…… TEL 052-972-0430
- ナディアパークプレイガイド…… TEL 052-265-2015
- しらかわホールチケットセンター…… TEL 052-222-7117（しらかわシリーズのみ）
- その他市内主要プレイガイド、大学生協

※各種割引（P.26参照）、定期会員券、市民会館名曲シリーズ セット券は、名フィル・チケットガイドのみのお取扱いとなります。

各種割引のご案内 Reductions

充実したコンサートをよりお気軽にお楽しみいただくために、名フィルでは下記の割引をご用意いたしております。

1回券割引

種類	条件	割引内容
いきいき割引	●65歳以上の方 ●障害者手帳をお持ちの方 （介添人1名様まで可）	S,A,B,C,D席を、 それぞれ20%割引
ユース割引	●24歳以下の方	
車椅子席	●車椅子をお使いの方 （介添人1名様まで可）	A席を20%割引
会員割引	●定期会員の方 ●ファンクラブ会員の方 ●名フィルカード「ハーモニー」をお持ちの方	セレクト・プラチナ席,プラチナ席, S,A,B,C,D席を、 それぞれ10%割引

いずれも
名フィル・チケットガイド
のみの取扱。
※ユース割引は、
大学生協でも取扱。
※しらかわシリーズは、
しらかわホール
チケットセンターでも取扱。
※セレクト・プラチナ席、
プラチナ席には、
いきいき・ユース割引は
適用できません。
※Y〈ユース〉席に、
いきいき・ユース割引、
会員割引の適用はできません。
※会員割引と、
いきいき・ユース割引の併用は
できません。

団体購入割引

1公演のチケットをまとめてのご購入で、枚数に応じた割引をさせていただきます。

条件	割引内容
20枚以上のご購入	定価の10%割引
50枚以上のご購入	定価の20%割引

託児サービスのご案内 Child Care Service

名フィルでは、主催公演の会場内に一時託児室を設置し、
開演中のみお子様をお預かりするシステムを導入しております。（しらかわシリーズを除く）

［料金］お子様1名につき……**¥1,000**

※未就学児童（満1歳以上）対象
※要事前予約

お申込み:ポピンズサービス名古屋
TEL **052-541-2100**
（演奏会の3日前<土・日・祝を除く>まで受付）

賛助会員のご案内 Supporting Members

財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団の活動を支援することにより、
音楽芸術の振興と発展を図り、社会文化の向上に寄与することを目的とします。

年会費	［法人］……1口10万円	［個人］……1口2万円

★名フィルは
「特定公益増進法人」の認定を
受けております。
寄付金につきましては、
個人の場合は所得からの控除、
法人の場合は
損金算入の優遇措置が
受けられます。

特典

01 定期演奏会のプログラムにご芳名を掲載いたします。

各種割引、託児サービス、賛助会員についての詳しいお問合せは…

名フィル・チケットガイド TEL **052-339-5666**
E-mail: meiphil@nagoya-phil.or.jp

常任指揮者
Chief Conductor
ティエリー・フィッシャー
Thierry FISCHER

桂冠指揮者
Conductor Laureate
小林研一郎
Ken'ichiro KOBAYASHI

名誉指揮者
Honorary Conductor
モーシェ・アツモン
Moshe ATZMON

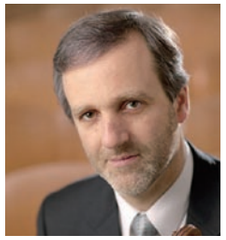
ポップスオーケストラ・
ミュージックディレクター
Pops Orchestra Music Director
ボブ佐久間
Bob SAKUMA

コンサートマスター
Concertmaster

日比　浩一
Koichi HIBI

後藤　龍伸
Tatsunobu GOTO

首席客演コンサートマスター
Principal Guest Concertmaster



ライナー・ホーネック
Rainer HONECK

客演コンサートマスター
Guest Concertmaster

植村　太郎
Taro UEMURA

アシスタント・コンサートマスター
Assistant Concertmaster

中西　俊哉
Toshiya NAKANISHI

ヴァイオリン
Violin

小椋　幸恵
Yukie OGURA

藤本　寮子
Ryoko FUJIMOTO

首席
（第2ヴァイオリン）
Principal (2nd Violin)
矢口十詩子
Toshiko YAGUCHI

神戸　潤子
Junko KAMBE

古館　真理
Mari FURUTACHI

首席
（第2ヴァイオリン）
Principal (2nd Violin)
小森　絹子
Kinuko KOMORI

鬼頭　　俊
Shun KITO

保坂三千子
Michiko HOSAKA

次席
（第2ヴァイオリン）
Vice-Principal
(2nd Violin)
小尾　佳正
Yoshitada OBI

坂本智英子
Chieko SAKAMOTO

水野　敏子
Toshiko MIZUNO

五十嵐裕子
Hiroko IKARASHI

志摩　真理
Mari SHIMA

森　　亘
Wataru MORI

石渡　慶豊
Keiho ISHIWATA

竹田　千波
Chinami TAKEDA

米田　誠一
Seiichi YONEDA

井上　絹代
Kinuyo INOUE

戸塚ふみ代
Fumiyo TOTSUKA

ヴィオラ
Viola

大竹　倫代
Michiyo OTAKE

日高みつ子
Mitsuko HIDAKA

首席
Principal
杉山光太郎
Kotaro SUGIYAMA

大野美由紀
Miyuki ONO

平田　　愛
Ai HIRATA

首席
Principal
吉田　浩司
Koji YOSHIDA

次席
Vice-Principal
寺尾　洋子
Yoko TERAO

次席
Vice-Principal
今村　聡子
Satoko IMAMURA

池村　明子
Akiko IKEMURA

石橋　直子
Naoko ISHIBASHI

柏木　珠里
Juri KASHIWAGI

小泉　理子
Ayako KOIZUMI

小林伊津子
Itsuko KOBAYASHI

紫藤　祥子
Shoko SHITO

チェロ
Cello

首席
Principal
太田　一也
Kazuya OTA

次席
Vice-Principal
古澤　渉
Wataru FURUSAWA

新井　康之
Yasuyuki ARAI

植村　勉
Tsutomu UEMURA

小笠原恭史
Takashi OGASAWARA

酒井　直
Nao SAKAI

酒泉　啓
Hiraku SAKAIZUMI

杉浦　薫
Kaoru SUGIURA

コントラバス
Contrabass

首席
Principal
古橋由基夫
Yukio FURUHASHI

首席
Principal
坂田　晃一
Koichi SAKATA

次席
Vice-Principal
田中　伸幸
Nobuyuki TANAKA

次席
Vice-Principal
井上　裕介
Yusuke INOUE

小金丸章斗
Akito KOGANEMARU

濱田　尚子
Naoko HAMADA

フルート
Flute

首席
Principal
富久田治彦
Haruhiko FUKUDA

首席
Principal
橋本　岳人
Takehito HASHIMOTO

大海　隆宏
Takahiro DAIKAI

オーボエ
Oboe

首席
Principal
山本　直人
Naoto YAMAMOTO

首席
Principal
寺島　陽介
Yosuke TERASHIMA

諸岡　研史
Kenshi MOROOKA

クラリネット
Clarinet

井上　京
Takashi INOUE

ロベルト・ボルショス
Robert BORSOS

ファゴット
Bassoon

首席
Principal
佐々木真樹緒
Makio SASAKI

首席
Principal
ゲオルギ・シャシコフ
Georgui CHACHIKOV

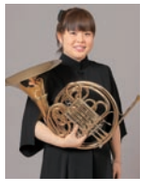
青谷　良明
Yoshiaki AOTANI

ホルン
Horn

首席
Principal
野々口義典
Yoshinori NONOGUCHI

首席
Principal
水無瀬一成
Kazunari MINASE

新井　雅夫
Masao ARAI


安土　真弓
Mayumi ANZUCHI

水谷　仁
Hitoshi MIZUTANI

トランペット
Trumpet

首席
Principal
藤島　謙治
Kenji FUJISHIMA

首席
Principal
澤田　真人
Masato SAWADA

井上　圭
Kei INOUE

トロンボーン
Trombone

首席
Principal
藤澤　伸行
Nobuyuki FUJISAWA

首席
Principal
田中　宏史
Hiroshi TANAKA

香川　慎二
Shinji KAGAWA

バス・トロンボーン
Bass Trombone

小幡　芳久
Yoshihisa OBATA

テューバ
Tuba

亀山　吉彦
Yoshihiko KAMEYAMA

ティンパニ&打楽器
Timpani & Percussion

首席
Principal
和泉　正憲
Masanori IZUMI

菅生　知巳
Tomomi SUGO

三宅　秀幸
Hideyuki MIYAKE

インスペクター
Inspector

鬼頭　俊
Shun KITO

諸岡　研史
Kenshi MOROOKA

ステージ・マネージャー
Stage Manager

岡田健太郎
Kentaro OKADA

杉原　清文
Kiyofumi SUGIHARA

ライブラリアン
Librarian

林　仁志
Hitoshi HAYASHI

（2010年2月現在）

顧問
奥田　碩
加藤　隆一
河村たかし
神田　真秋
谷口清太郎

理事長
神尾　隆
Takashi KAMIO

副理事長
伊藤　範久
大西　聰
髙尾　和彦

常任理事
加藤　太郎
小山　勇
佐々　和夫
細谷　孝利
松林　孝美
山内　拓男

専務理事
瀬川　司
Tsukasa SEGAWA

常務理事
松本たかあき
Takaaki MATSUMOTO

理事
赤羽　昇
石黒　大山
今井　秀明
大久保裕司
岡田　邦彦
岡谷　篤一
奥村　彰司
梶原　史次
加藤　直嗣
加藤　倫朗
神野　信郎
木田　幸紀
佐合　広利
鈴木　邦尚
須田　寛
髙山　剛
徳光　彰二
内藤　明人
永野　健二
夏目　和良
早川　敏生
堀　鐵藏
三浦　光男
横江　佳憲
渡会　文化

監事
加藤　千麿
紅村　重直

- - - - - - -

評議員
池田　善次
磯見　輝夫
大口　光子
大野　重忠
榊　達雄
神野　進
中村　幸昭
夏目　宗典
福田　功
藤井　知昭
細川　孝
来間　紘
斉藤　光雄
柴田　光朗
谷　喜久郎
本多立太郎
大野　明彦
葛迫　憲治
堀崎　亘
村山　勝
伊藤　次一
岡部　弘
小野　金夫
栢森　秀行
木全　英一
小出　眞市
駒田　邦男
佐々木良一
清水　眞男
末安　堅二
杉野　正博
瀧　季夫
豊島　徳三
豊田　鐵郎
中北　智久
日比　賢昭
藤岡　旭
藤森　文雄
三輪　芳弘
宗次　徳二
盛田　和昭
安井　義博

- - - - - - -

団友
伊藤　武
大澤由美子
小木曽典孝
北垣　紀子
木股　哲夫
小松　孝文
神野　薫
菅　俊夫
住田　敬二
髙橋　妙子
竹本　義明
西岡　正臣
野々口俊子
林　茂子
星　順治
村田　四郎
森本　千絵
山口　典久
横江　佳憲

- - - - - - -

コーポレーター
都築　義高

事務局
[事務局長]
松岡　俊夫
Toshio MATSUOKA

[総務部]
部長　松岡　俊夫
Toshio MATSUOKA
野田　裕子
Yuko NODA
伊藤奈津子
Natsuko ITO

[演奏事業部]
部長　大野　英人
Hideto ONO
課長　清水　善一
Zen'ichi SHIMIZU
主幹　林　仁志（ライブラリアン）
Hitoshi HAYASHI (Librarian)
岡田健太郎（ステージ・マネージャー）
Kentaro OKADA (Stage Manager)
小出　篤（企画制作）
Atsushi KOIDE (Artistic Planning)
杉原　清文（ステージ・マネージャー）
Kiyofumi SUGIHARA (Stage Manager)
佐藤あや乃（企画制作）
Ayano SATO (Artistic Planning)

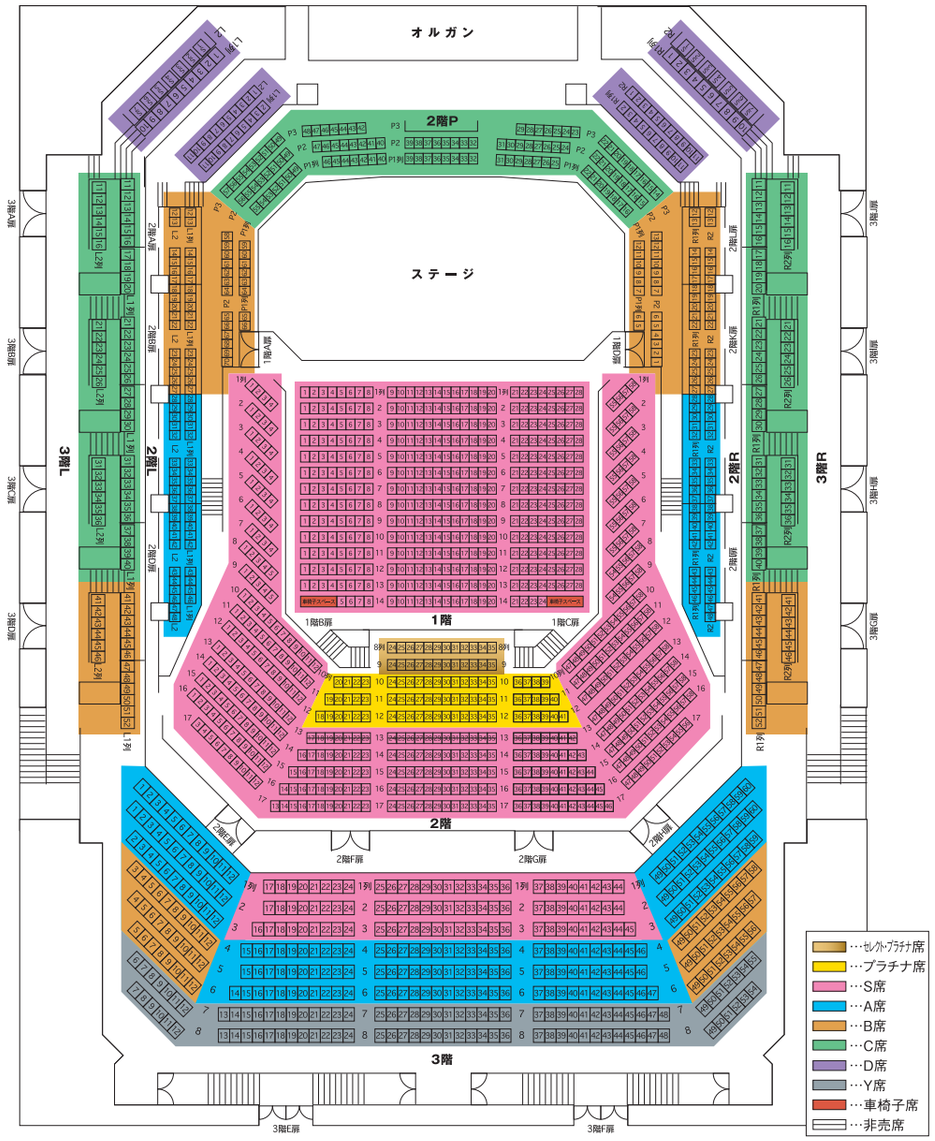
[事業部]
部長　神谷　修
Osamu KAMIYA
課長　山元　浩
Hiroshi YAMAMOTO
岩澤　陽介（広報宣伝）
Yosuke IWASAWA (Publicity)
横江　寛治
Kanji YOKOE
小野田恵子
Keiko ONODA
山﨑　麻衣
Mai YAMAZAKI

[企画スタッフ]
大和佐江子（海外渉外）
Saeko YAMATO (International Consultant)

- -

[芸術アドバイザー]
イオアン・ホーレンダー
Ioan HOLENDER (Artistic Adviser)

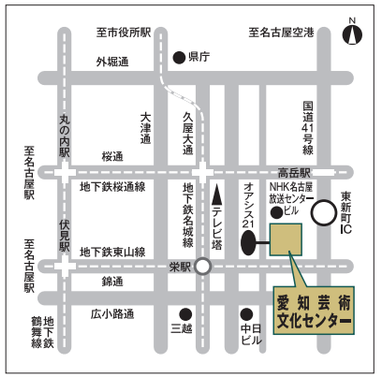
（2010年2月現在）



財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団 事務局
Nagoya Philharmonic Orchestra Administration Office

〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山1-4-10名古屋市音楽プラザ4F
C/O Nagoya City Music Plaza 4F
1-4-10 Kanayama, Naka-ku, Nagoya, Aichi, 460-0022, JAPAN
Tel. 052-322-2774 Fax. 052-322-3066
E-mail: meiphil@nagoya-phil.or.jp
http://www.nagoya-phil.or.jp/

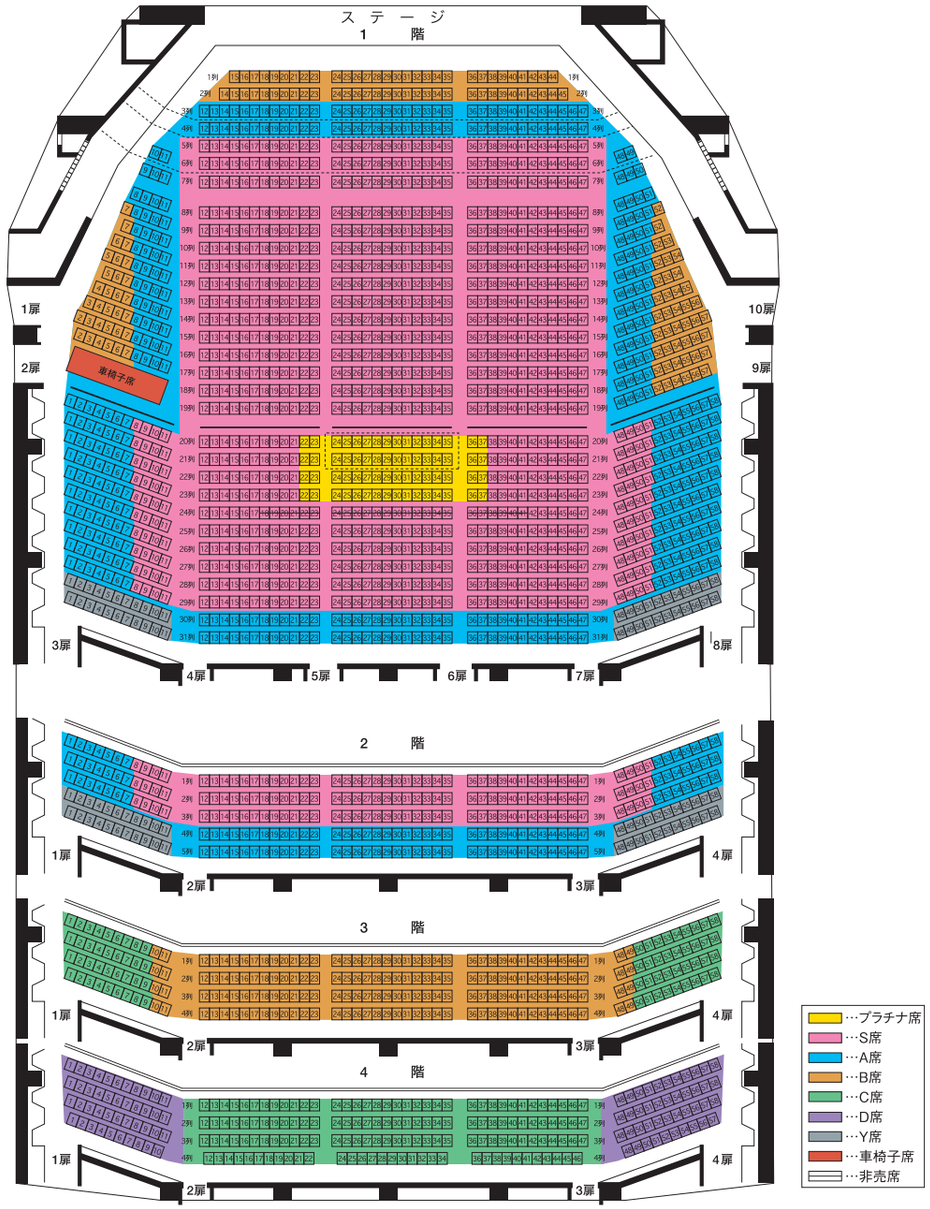
●地下鉄名城線「金山」駅地下連絡通路より徒歩2分
●JR中央本線・東海道本線「金山」駅より徒歩6分
●名鉄本線「金山」駅より徒歩6分

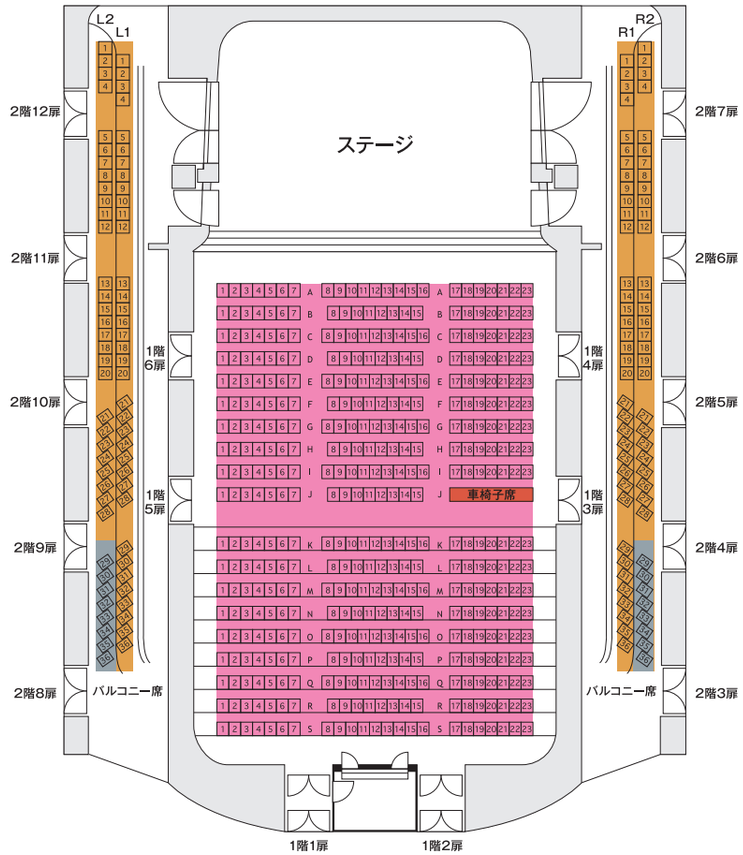


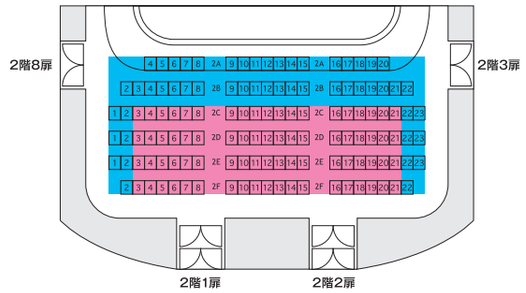
愛知県芸術劇場コンサートホール
Aichi Prefectural Art Theater Concert Hall

〒461-8525 愛知県名古屋市東区東桜1-13-2愛知芸術文化センター4F
Aichi Art Center 4F
1-13-2 Higashisakura, Higashi-ku, Nagoya, Aichi, 461-8525, JAPAN
http://www.aac.pref.aichi.jp/

●地下鉄東山線・名城線「栄」駅より徒歩2分
●名鉄瀬戸線「栄町」駅より徒歩2分



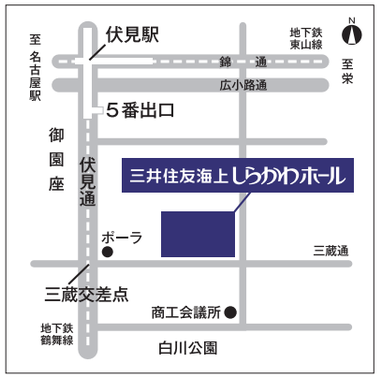




中京大学文化市民会館オーロラホール
Chukyo University Center for Culture & Arts Aurora Hall

〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山1-5-1
1-5-1 Kanayama, Naka-ku, Nagoya, Aichi, 460-0022, JAPAN
http://www.bunka758.or.jp/02shisetsu/02shisetsu_01.html

●地下鉄名城線「金山」駅地下連絡通路より徒歩1分
●JR中央本線・東海道本線「金山」駅より徒歩5分
●名鉄本線「金山」駅より徒歩5分



三井住友海上しらかわホール
MSIG Shirakawa Hall

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-9-15
2-9-15 Sakae, Naka-ku, Nagoya, Aichi, 460-0008, JAPAN
http://www.shirakawa-hall.com/

●地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」駅より徒歩5分